

# 味の新鮮蔵

## 取扱説明書／組立・設置説明書

### ARV-28BSF ARV-32BSF

## もくじ

### 取り扱いの説明

安全のために必ずお守りください	1~2
各部のなまえとはたらき	3~4
ご使用方法	
貯蔵するときのご注意	5
精米をするときのご注意	6
運転する前に知っておいていただきたいこと	6~7
霜取りについて	8
結露について	8
強制除霜について	9
玄米袋について	9
コンテナについて	10
玄米袋・コンテナの積み込みかた	10
その他のご注意	11~12
運転のしかた	13~15
低電圧検出表示と解除方法	16
棚の使いかた	17
点検とお手入れのしかた	18~20
こんな表示が出たときは	21~22
修理を依頼されるまえに	23

### 組立・設置の説明

組立・設置方法	
安全上のご注意	24
設置作業をされる方へのお願い	25
設置スペースおよび設置時のご注意	25
製造No.の記入について	26
タッピンネジの締め付けについて	26
六角ボルトの締め付けについて	26
クリップの取り付けについて	26
組立・設置に必要な主な工具	27
付属品の確認	27~28
組立	29~39
設置	40~42
試運転	43~44

### 仕様

仕様	45
主要寸法図	46
アフターサービスと保証について	裏表紙

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書／組立・設置説明書をよくお読みのうえ、正しく  
お使いください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。


保証書別添付



# 安全のために必ずお守りください


ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要事項を警告・注意に分けて示します。必ずお守りください。

 **警告** 取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性があります。

 **注意** 取り扱いを誤ると、障害または物的損害などが発生する可能性があります。

お守りいただく内容を次の絵表示で区別し説明しています。

 してはいいないこと(禁止)を示します。

 必ずすること(強制)を示します。

## 警告



必ず実施

- 定格15A以上の安全ブレーカー、コンセントを単独で使用する。  
感電・火災の原因になります。
- 漏電遮断機を必ず取り付け。  
(定格電流 15A  
定格感度電流 30mA)  
感電・火災の原因になります。
- 製品の運転・停止は電源スイッチでおこなう。  
感電・ショートの原因になります。
- 延長コードを使用するときは、太さ2mm<sup>2</sup>以上、長さ10m以下にする。  
発熱による火災の原因になります。  
電圧降下により、正常に作動しない原因になります。
- 電源プラグはホコリが付着していないか定期的に確認し、刃の根元まで確実に差し込む。(電源コードを下向きにする。)  
感電・ショートによる火災の原因になります。  
1カ月に一度電源プラグを抜き刃部のホコリを取り除いてください。
- 設置は、必ずお買い上げの販売店に依頼する。  
ご自分で設置されますと、感電・転倒事故・火災・水もれの原因になります。



アース線接続

- アースを確実に取り付け。  
不完全なアースは、感電・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

- 製品に直接水をかけたり、雨水をあてない。(屋外や湿気の多い場所・水のかかる場所で使用しない。)  
感電・ショート・漏電・故障・サビの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしたり、電源スイッチを操作しない。  
感電の原因になります。



禁止

- 電源コードや電源プラグは傷んだまま使わない。  
感電・ショートによる火災の原因になります。  
1カ月に一度電源コードや電源プラグがネズミなどにかじられるなどして、傷んでいないか確認してください。
- 電源はタコ足配線にしない。  
発熱による火災の原因になります。
- 電源コードを持って電源プラグを抜かない。(必ず電源プラグを持つ。)  
電源コードが傷み、感電・ショートによる火災の原因になります。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っばったり、重いものをのせたり、加工したり、足に引っ掛かるような状態にしない。  
電源コードが傷み、感電・ショートによる火災の原因になります。
- 可燃性ガスのもれるおそれのある場所に設置しない。  
爆発・火災・発火・発煙の原因になります。
- 揮発性・引火性のある薬品は庫内へ入れない。(シンナー・ベンジン・LPガスなど)  
爆発・火災・発火・発煙の原因になります。
- 可燃性スプレーやシンナーなど可燃物を製品の近くで使用しない。  
爆発・火災・発火・発煙の原因になります。
- お客様ご自身で分解したり修理・改造は絶対しない。  
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。  
修理はお買い上げの販売店または裏表紙に記載されているお客様相談窓口にご相談ください。



分解禁止

## 警告



必ず実施

- 扉は常に施錠する。  
子供が中に入り閉じ込められると、酸欠により死亡するなど事故の原因になります。
- 移設は専門業者か販売店に相談する。  
設置不備があると感電・火災・水もれなどの原因になります。
- この製品を廃棄するときは、専門業者に依頼する。  
放置しますと子供が中に閉じ込められるなど事故の原因になります。  
また、不法投棄は法律により罰せられます。



禁止

- 子供を近くで遊ばせない。
- 上にのったり、扉にぶらさがらない。  
転落や製品転倒などによるケガの原因になります。
- 上に物(特に重量物)を置かない。  
置いた物が落下してケガをしたり、重量物で製品が変形する原因になります。
- 凝縮器フィン・排熱口などから針金、ピンなどの異物を入れない。  
感電・ケガ・故障の原因になります。

## 注意



必ず実施

- 扉の開閉は他の人がさわっていないことを確認し、取っ手を持っておこなう。  
手や指をはさみ、ケガの原因になることがあります。
- 床面が丈夫で平らな場所に水平になるように設置する。  
設置に不備があると転倒によるケガ・水もれ・冷気もれなどの原因になることがあります。
- ドレンホースを確実に取り付ける。  
水もれにより貯蔵物を湿らせたり、感電やショートの原因になることがあります。
  - ・ドレンホースが確実に取り付けられているか、先が曲がっていたり水受けにたまった水の中に入っていないか確認してください。
  - ・ペットボトルや一升ビンなどの口の小さいものは、水受けとして使用しないでください。
  - ・水受けにたまった水は、いっぱいになる前に捨ててください。



禁止

- 凝縮器フィン・吸気口・排熱口をふさがない。  
吸排気が妨げられ冷却能力が低下して庫内が冷えなくなったり、故障の原因になることがあります。
- 冷気吹き出し口・戻り口に手を入れない。  
ファンや冷却器フィンでケガの原因になることがあります。
- 床がぬれてはいけない場所には設置しない。  
湿度の高いときには製品の外側や扉回りに結露した露が滴下し床面をぬらす原因になることがあります。
- 棚には60kgを超えるものをのせない。  
破損によるケガの原因になることがあります。



電源プラグを抜く

- お手入れするときは、電源スイッチを「切」にしてから電源プラグを抜く。  
感電の原因になることがあります。
- 長期間使用しないときは、必ず電源スイッチを「切」にしてから電源プラグを抜く。  
電源プラグにホコリがたまって発火・発熱の原因になることがあります。
- 異常時は、直ちに電源スイッチを「切」にしてから電源プラグを抜く。  
異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になることがあります。



接触禁止

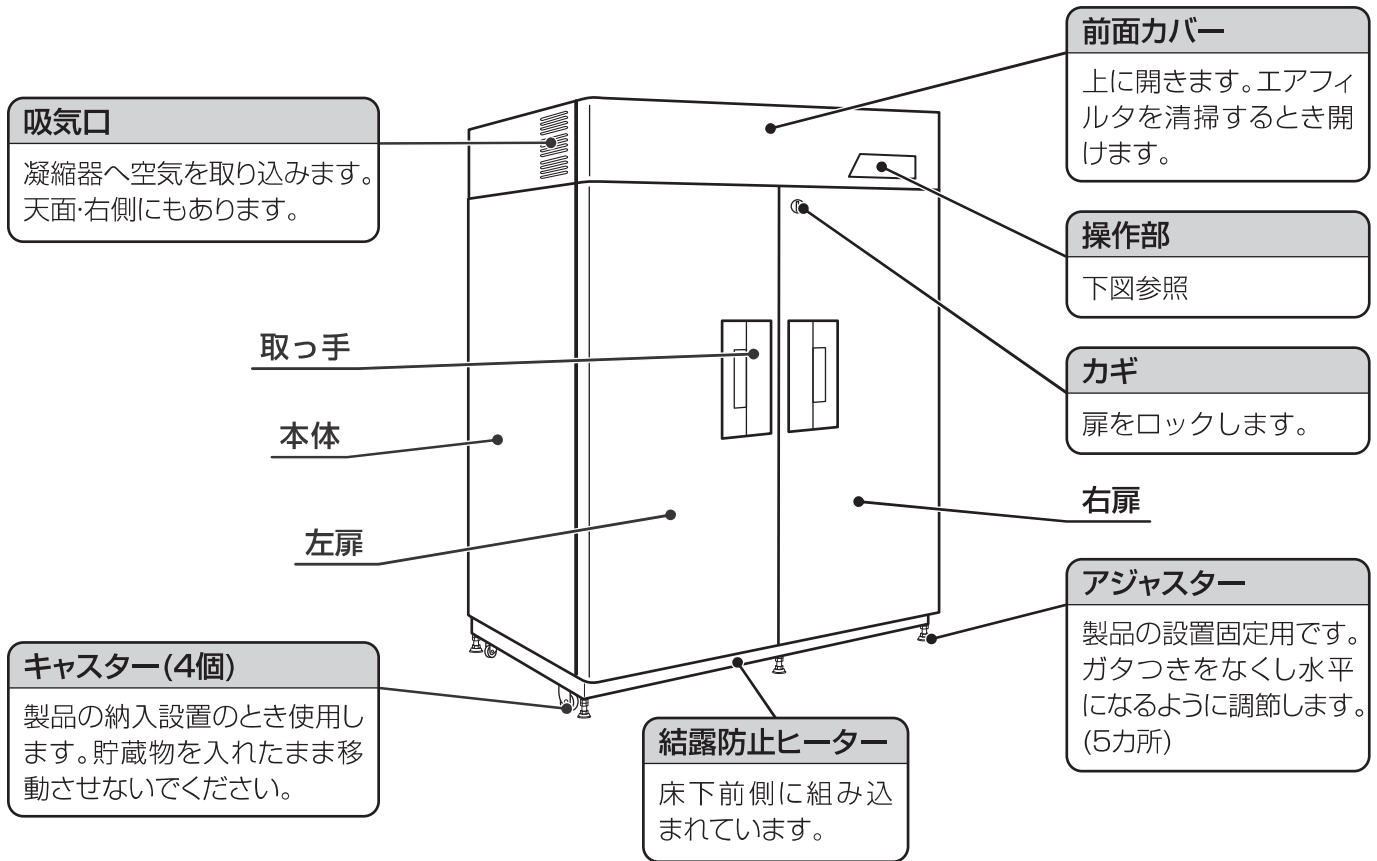
- 掃除をするときなど凝縮器フィンを直接手でさわらない。  
ケガの原因になることがあります。

### フロン排出抑制法 第一種特定製品

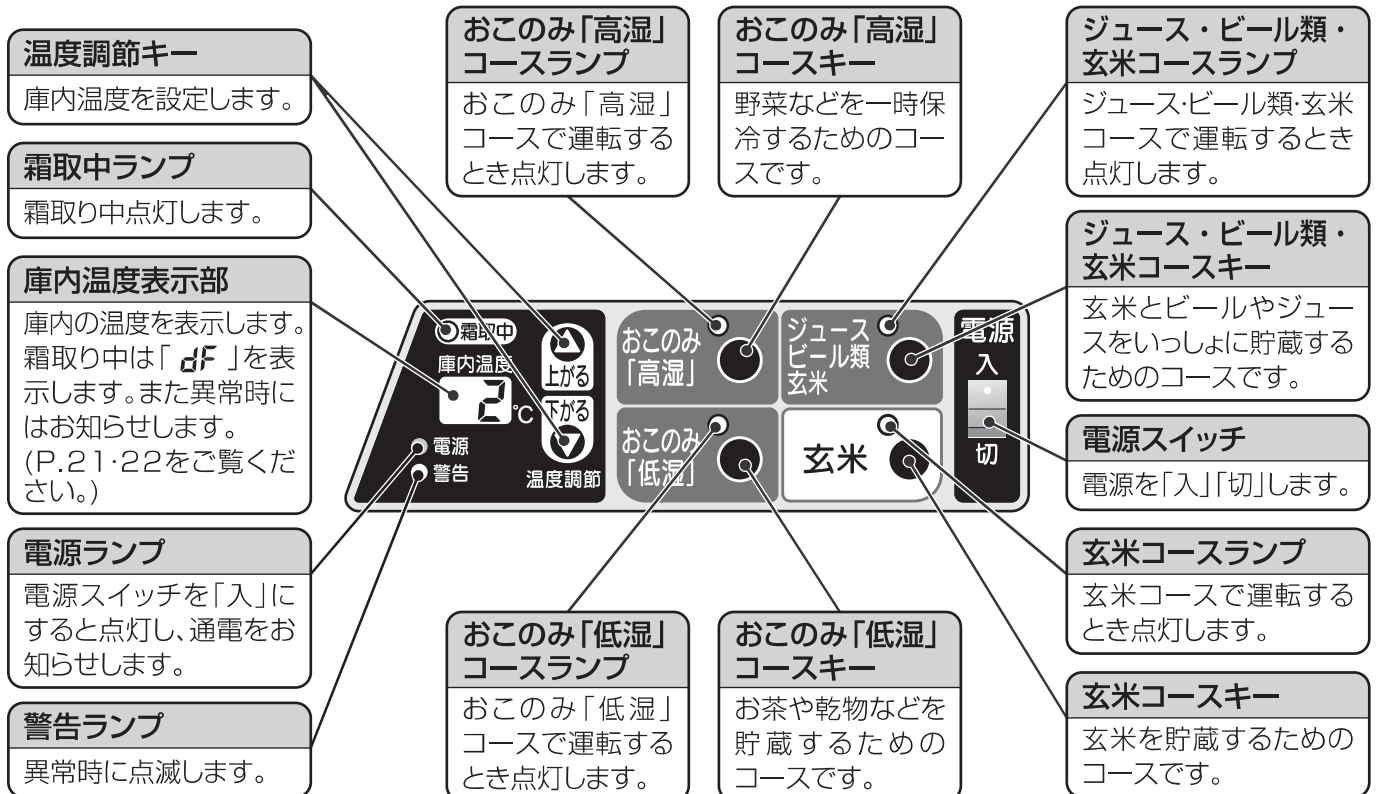
この製品には冷媒として、R134a(GWP値：1430)が使われています。

- (1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- (2) この製品を廃棄・整備するときは、フロン類の回収が必要となります。
- (3) フロン類の種類および数量は、本体に貼付のラベルに記載されています。

# 各部のなまえとはたらき



## 操 作 部



庫内

**凝縮器フィン (エアフィルタの奥)**  
放熱用のフィンです。

**冷却ユニット**  
庫内を冷やします。マイコンで運転制御します。

**警告ラベル**  
安全上の注意事項が記載されています。

**冷氣吹き出し口**

**積み込み制限ラベル**  
コンテナ・玄米袋を積み込むとき、高さの制限を示します。

**柱**  
貯蔵物(玄米袋など)を壁に密着させないためのものです。

**スノコ**  
冷気の循環をよくします。必ず付属のスノコを使ってください。

**エアフィルタ**  
凝縮器の目詰まりを防ぎます。(P.20をご覧ください。)

**ステー**  
前面カバーを上げたとき支えます。(P.20をご覧ください。)

**警告ラベル・注意ラベル**  
安全上の注意事項が記載されています。

**設定温度ラベル**  
代表的な品目について設定温度のめやす、貯蔵上の注意事項が記載されています。

**定格ラベル**  
製品の形式・定格・製造No.製造時期・お問い合わせ先が記載されています。

**冷氣戻り口**

**庫内ダクト**

**扉パッキン**  
庫内を密閉し、冷気がもれるのを防ぎます。

**棚 (許容荷重60kg)**  
着脱式で可変できます。(P.17をご覧ください。)

**水滴受け**  
結露(P.8参照)によって扉の合わせ部についた水滴を受けるためのものです。

**アジャスター調節口ふた**  
アジャスター(奥側の2個)を調節するときはずします。

背面

**電源コードガード**  
電源コードをネズミなどから保護します。

電源コード

電源プラグ

**吸気口**  
凝縮器へ空気を取り込みます。

**排熱口**  
冷却運転で発生した暖かい空気を排気します。

**ドレンホース**  
冷却運転で発生した水を排水します。

**水受け**  
お客様にてご用意ください。(容量3リットル以上のもの)

アース線

# ご使用方法

## 貯蔵するときのご注意

- この貯蔵庫は「野菜・果物などの一時保冷、玄米の貯蔵に適した環境(温度・湿度)を保つためのもの」であり、「野菜・果物・お米の鮮度をよくするもの、おいしくするもの」ではありません。本書のご使用方法にしたがって正しく使用し、適切な管理を心がけてください。

## 玄米・野菜・果物を貯蔵するときのご注意

<ul style="list-style-type: none"><li>●玄米は水分を15.5%以下に乾燥してから貯蔵する。 水分が高いとカビが発生したり、固まったりして、品質が低下することがあります。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●玄米は、野菜・果物と一緒に入れない。 庫内湿度が高くなり、玄米の品質が低下したり、カビが発生する原因になります。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●野菜・果物は必ずポリエチレンシートやポリ袋で包装して貯蔵する。 そのまま貯蔵すると蒸散(乾燥)したり、貯蔵物の水分で冷却器に霜が付き冷却能力が低下する原因になります。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●野菜・果物などの予冷には適しておりません。 この貯蔵庫は、野菜・果物を急速に冷却できないので、予冷には適しておりません。(P.11をご覧ください) ※野菜・果物を入れるときは、庫内が冷えてから入れてください。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●玄米は新しい紙袋を使って貯蔵する。 古い紙袋を使うとカビや害虫が発生することがあります。また、袋に入れずに貯蔵すると乾燥してしまいます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●積み込み高さを守る。 庫内に表示している積み込み制限ラベルのラインを超えて積み込むと、冷気が循環できなくなり、冷えない場所ができてしまいます。特に冷気吹き出し口をふさがないように注意してください。 また、水分の多い野菜・果物は凍結の原因になります。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●害虫にご注意 この貯蔵庫は害虫の繁殖をおさえることはできませんが、貯蔵する前に発生していた害虫への殺虫能力はありません。</li></ul>	
<ul style="list-style-type: none"><li>●扉の開閉は少なく、短くする。 玄米は湿気をきらいます。特に梅雨の時期や夏場は扉の開閉により多量の湿気が入り込みますので、開閉はできるだけ少なく、開けている時間は短くしてください。 扉の開閉頻度が多いときは、扉の内側・庫内天井面が結露し、滴下することがありますのでタオルなどで拭き取ってください。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●扉はしっかり閉める。 扉が開いていると、庫内が冷えないだけでなく、外気の湿気が入り込み、結露が多く発生し、貯蔵物を湿らせてしまいます。</li></ul>

**重要**

- 扉を閉めるときは本体とすき間ができないように静かに確実に閉めてください。

## その他のご注意

<ul style="list-style-type: none"><li>●酢・酢酸・イースト菌などを含んだ食品はラップなどで包むか、密閉容器に入れる。 酢・酢酸を含んだ食品や酸性物質を分泌させるイースト菌などを含んだ食品は、庫内用品のサビ・腐食や冷却ユニットの故障の原因になりますのでラップで完全に包むか密閉容器に入れて貯蔵してください。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●熱い物は冷ましてから入れる。 庫内の温度が上がり、電気代のムダになります。特に収穫直後の野菜、初すり直後の玄米は熱を持っていますので、冷ましてから貯蔵してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●貯蔵物はすき間をあける。 つめすぎると冷えにくくなったり、温度ムラが発生する原因になりますので、すき間を開けて貯蔵してください。 ※コンテナを入れるときは、コンテナとコンテナの間に適当なすき間をあけてください。(P.10をご覧ください)</li></ul>

## 精米をするときのご注意

### ●玄米の急激な温度変化は避ける。

冷えた玄米を外気にさらすと結露をおこすことがあります。この状態のまますぐに精米をおこなうと玄米が割れたり、循環式精米機の内部が結露するなどして安定した精米ができないことがあります。特に初夏から夏にかけては、玄米の袋が湿ることがありますので、涼しい早朝や夕方に取り出し、24時間以上（開封しない状態で）外気になじませてから精米してください。また、できるだけ涼しい時間帯に精米してください。

保冷していた玄米を常温に戻して精米をおこなっても食味に影響はありません。

## 運転する前に知っておいていただきたいこと

### 運転をするとき

- コンセントに電源プラグを差し込み、電源スイッチを「入」にします。

### 運転を停止するとき

- 電源スイッチを「切」にします。
- ※運転が停止する前の設定温度を記憶していますので、再び電源を入れると停止する前のコースと設定温度で運転します。

### 設定温度の変更について

- 設定温度は運転中でも全てのコースで2℃～18℃の間で、1℃ずつ自由に変えることができます。

### コース設定の変更について

- 電源スイッチを入れた後や、キーを押した後10秒間(ランプと表示部が点滅している間)は設定を変えることができます。キーを押さなかったり、押した後10秒間経過すると設定が完了し運転をはじめます。
- コースキーを押すと初期設定温度に設定されます。

#### 初期設定温度

玄米コース	13℃
おこのみ「高湿」コース	2℃
おこのみ「低湿」コース	5℃
ジュース・ビール類・玄米コース	5℃

### 温度表示について

- 運転中は現在の庫内温度が表示されます。冬期など周囲温度が設定温度より低いときは、庫内の温度は周囲温度と同じ温度になり、設定温度より低い温度を表示しますが、異常ではありません。
- ※霜取り中は「dF」を表示します。
- ※異常時にはお知らせをします。(P.21・22をご覧ください。)

# ご使用方法

## おこのみ「高湿コース」について

- 野菜などを一時保冷するためのコースです。
  - 高湿コースを選択すると初期設定温度[2℃]に設定され運転します。
- ※野菜・果物の予冷には適していません。

庫内湿度の目安：約70%～80%

## おこのみ「低湿コース」について

- お茶や乾物などを貯蔵するためのコースです。
- 低湿コースを選択すると初期設定温度[5℃]に設定され運転します。

庫内湿度の目安：約50%～60%

## 湿度について

- 庫内の湿度は扉の開閉頻度や周囲の温度・湿度によって変わります。

## 運転がはじまると

- 設定温度になるよう自動的に冷却運転をおこないます。(庫内温度表示部は現在の庫内温度が表示されます。)
- 周囲温度35℃で玄米を規定量入れて運転すると、庫内温度は約6時間で13℃まで下がります。袋の中心部が13℃まで下がるには約4～6日かかります。
- 扉を閉めた直後、すぐに扉を開けようとするとう扉が重く感じる場合があります。これは扉の開閉のとき、庫内に入った空気が急に冷やされて庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。周囲温度や庫内温度によって異なりますが、無理に開けようとせずに1～2分たってから開けてください。

## 雷が鳴りだしたら

- 落雷のおそれのあるときは、製品保護のため電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

## ジュース・ビール類・玄米コースについて

- 玄米とビールやジュースをいっしょに貯蔵するためのコースです。
- ジュース・ビール類・玄米コースを選択すると初期設定温度[5℃]に設定され運転します。

庫内湿度の目安：約60%～70%

## 玄米コースについて

- 玄米を貯蔵するためのコースです。
  - 玄米コースを選択すると初期設定温度[13℃]に設定され運転します。
- ※温度[13℃]とは、玄米の酸化・カビや害虫の繁殖をおさえる温度です。

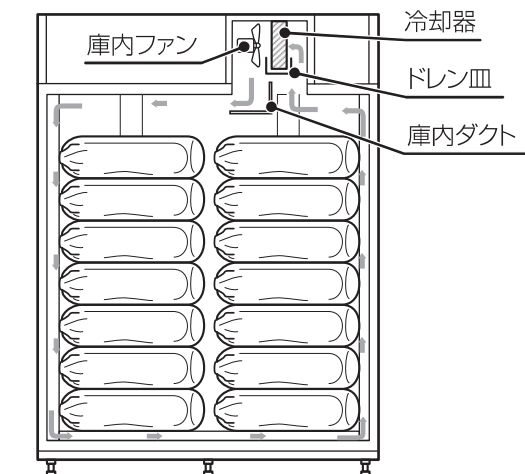
庫内湿度の目安：約60%～70%

## 停電したときは

- 扉の開閉や貯蔵物の追加をひかえてください。停電が回復すればそれまで運転していた設定温度で自動的に運転を再開します。



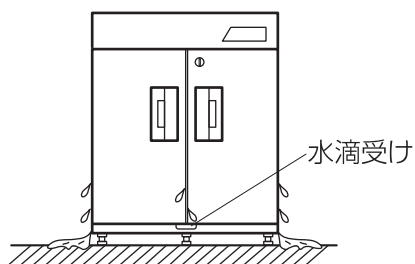
## 霜取りについて



→ 冷気の流れ(イラストはARV-28BSFです。)

- 冷却器の霜取りは2～3時間ごとに自動的におこなわれます。このとき操作部は霜取中ランプが点灯し、庫内温度表示部は「**df**」と表示しています。
- 霜取り中は扉の開閉をおこなわないでください。
- 霜取りがおこなわれると、冷却器に付いた霜が水滴となってドレン皿にたまり、その後ドレンホースから排出されます。
- 霜取りが終わると通常運転になります。
- 霜取りの途中で運転を停止しないでください。冷却器に霜が残ってしまい、次にお使いのとき冷えない原因になることがあります。

## 結露について



- 温度・湿度が高いとき(特に梅雨の時期や夏場)、風通しの悪い場所では製品の外側や扉回り(特に扉の合わせ部)が結露することがあります。これは自然現象であり、故障ではありません。このようなときは、タオルで拭き取ってください。結露が激しいときは、風通しをよくしたり、換気装置を設けてください。
- 扉合わせ部の水滴が本体下部に付いている水滴受けにたまります。水滴受けにたまった水は、タオルなどで吸い取ってください。




### 次のことは故障ではありません

- 冷却運転が始まると冷却ユニットから水の流れるような音がすることがありますが、冷媒が流れているため故障ではありません。
- 庫内温度が設定温度よりも低く、冷却運転をしないときに庫内ファンが回ることがありますが、これは庫内の温度を均一にするための制御で故障ではありません。
- 設定を変えた後、すぐに冷却運転を開始しないことがありますが、これは冷却ユニットを保護するための制御で故障ではありません。約3分後に運転を開始します。
- 扉の開閉によって、一時的に庫内温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 除霜中にコンプレッサが回っていても、庫内ファンや凝縮器ファンが止まるることがありますが、故障ではありません。

# ご使用方法

## 強制除霜について

2～3時間ごと霜取りをおこないますが、貯蔵物・貯蔵量によっては冷却器に霜が残り、冷えにくくなる場合があります。庫内温度が設定温度まで下がらないときは、強制的に霜取りをおこなってください。

-  キーを押しながら  キーを2回押します。
- 霜取り中ランプが点灯し、庫内温度表示部に  が点滅します。
- 霜取りが終わると自動的に運転を開始します。(霜取りは5～25分間おこないます。)

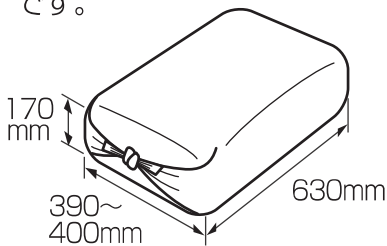
※強制除霜の途中で電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜かないでください。冷却器に霜が残ったり、冷却ユニットの故障の原因になります。

## 玄米袋について

### ●玄米袋の基準寸法について

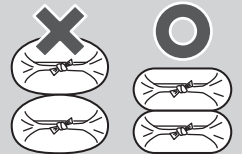
玄米30kg入紙袋の寸法は、下図の通り「幅390～400×長さ630×高さ170mm」に設定しています。

※玄米を30kg入れたときの寸法です。

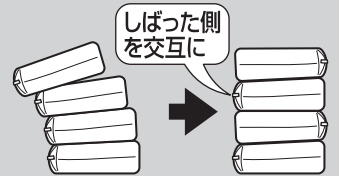


**重要**



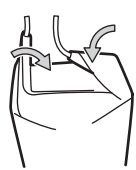
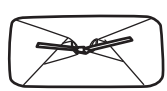

- 玄米袋はできるだけ平らになるようにしばり、基準寸法になるように形を整えながら積み込んでください。基準寸法を超え、丸く膨らんだ形で積み込むと不安定になり袋が崩れたり、規定の収納量まで積み込めないことがあります。



- 玄米袋が崩れやすいときは、しばった側を交互に積み込むと崩れにくくなります。



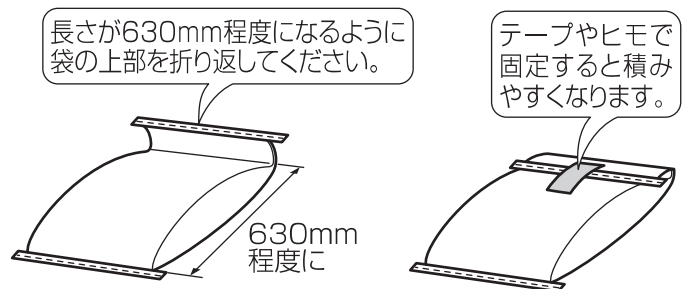
### 玄米袋の形の整え方

- 1 玄米袋を立てて置き、空気を抜きます。  

- 2 あまった部分を内側に向かってしっかりと3回折り曲げます。  

- 3 両端を内側に折り込みます。  

- 4 口ひもを2回からませ、しばります。  

- 5 玄米袋を横に倒し、平らに形を整えます。  


### ミシン縫いの玄米袋をご使用の方へ

ミシン縫いの米袋は玄米30kg入紙袋より袋の寸法が大きいので、玄米袋の基準寸法と比べて、幅と長さは大きく、高さは低くなります。

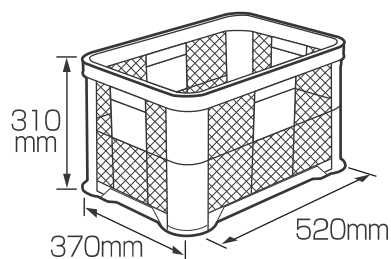
袋の上部を折り返すなどして、長さが630mm程度になるように形を整えながら積み込んでください。



## コンテナについて

### ●コンテナの基準寸法について

コンテナの寸法は、右図の通り「幅520×奥行370×高さ310mm」の農業用コンテナを基準としています。

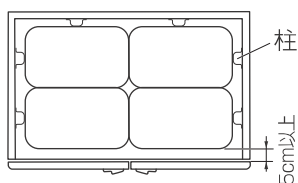


## 玄米袋・コンテナの積み込みかた

### ●玄米30kg紙袋

	30kg紙袋 収納量	積み込みかた
ARV-28BSF	28袋	4列・7段
ARV-32BSF	32袋	4列・8段

上から見たところ

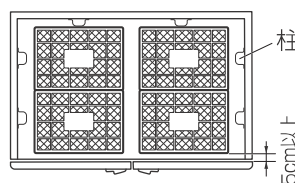


ARV-28BSF・32BSF

### ●農業用コンテナ

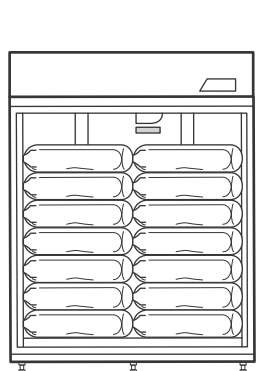
	農業用コンテナ 収納量	積み込みかた
ARV-28BSF	16個	4列・4段
ARV-32BSF	20個	4列・5段

上から見たところ

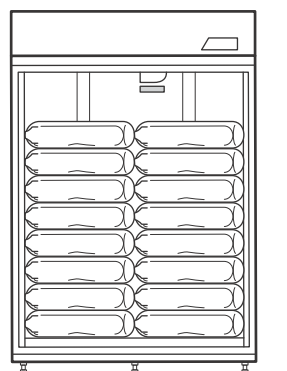


ARV-28BSF・32BSF

正面から見たところ(扉を開けた状態)

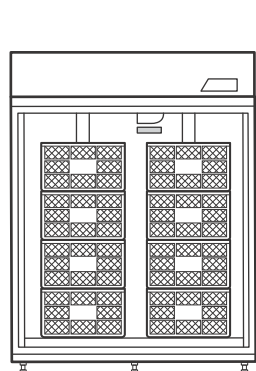


ARV-28BSF

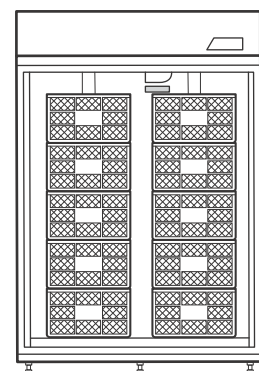


ARV-32BSF

正面から見たところ(扉を開けた状態)



ARV-28BSF



ARV-32BSF

**重要**

●冷気が充分循環するように、必ず付属のスノコを使用し、積み込み制限ラベルのライン以下で、扉から5cm以上すき間をあけて積み込んでください。また、コンテナとコンテナの間に適当なすき間をあけてください。

# ご使用方法

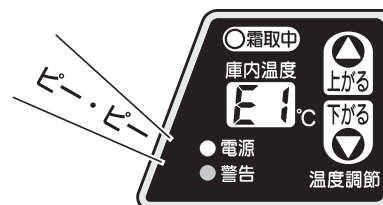
## その他のご注意

### 警告アラームについて

- 庫内温度検知部などが故障したときは、非常運転に切り替わり、警告ランプが点滅し警告アラームがなり続けます。こんなときは **警告アラームを解除し、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡してください。**

### 警告アラームの解除方法

- 玄米コースキー、ジュース・ビール類・玄米コースキー、おこのみ「高湿」キー、おこのみ「低湿」キー、温度調節キーのいずれかを押すとアラームが止まります。



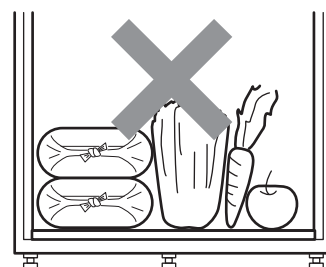
### 警告ランプについて

- 扉が開いているなど、庫内温度が下がらないときは、警告ランプが点滅します。こんなときは **確実に扉を閉めてください。** 庫内温度が下がりはじめると警告ランプが消えます。(庫内温度が下がり始めるまでしばらく時間がかかります。)
- 次の点検・処置をしてもなお警告ランプが点滅するときは、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。

お調べいただくこと	処置していただくこと
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 周囲の風通しが悪く、高温になっていませんか。</li> <li>2 冷えた庫内に熱いもの(例:収穫直後の野菜・粉すり直後の玄米など)を入れていませんか。</li> <li>3 決められた範囲を超えて積み込んでいませんか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 換気装置を設け、周囲の風通しをよくしてください。</li> <li>2 熱いものは室温まで冷ましてから入れてください。</li> <li>3 正しい積み込みかたをしているか確認して、積み込み過ぎたものは取り出してください。</li> </ol>

### 野菜・果物などの一時保冷・予冷について

- この製品は、野菜・果物などの一時保冷ができますが、野菜・果物の種類により、適した保冷期間・温度・湿度が異なりますので充分注意してください。
- 野菜・果物などの一時保冷のとき、ドレン水が大量に出ることがあります。
- 野菜・果物の貯蔵はポリエチレンシートやポリ袋で包装してください。水分を多く含んだ農産物をそのままの状態(場合によっては霧吹きをしながら)貯蔵したり、乾燥させながら保冷する目的でお使いになると短時間で庫内湿度が高くなり、冷却器に霜が付いて冷却できない原因になります。
- 貯蔵物を入れるときは、庫内が冷えてから入れてください。貯蔵物を入れてから電源を入れると庫内が冷えるまで時間がかかります。



この製品は野菜・果物などの予冷には適していません。

**重要**

- 玄米と野菜・果物などを一緒に入れないでください。玄米にカビが発生するおそれがあります。
- 野菜・果物は必ずポリエチレンシートやポリ袋で包装して貯蔵してください。そのまま貯蔵すると乾燥したり、しおれの原因になります。

- 保冷とは、玄米・野菜・果物などの温度が上がらないように低温に維持することをいいます。
- 予冷とは収穫後の野菜・果物を輸送や貯蔵の前に急速に冷却し、品温を下げることをいいます。

## 加温について

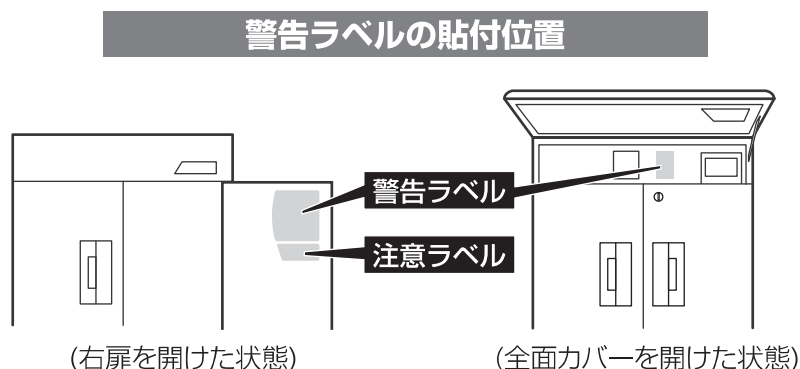
- この製品は加温することはできません。冬期など周囲温度が設定温度より低いときは、庫内の温度は周囲温度と同じ温度になります。周囲温度が設定温度より高くなると自動的に冷却運転がはじまります。

## キーの保管について

- キーが2個付属されています。1個は予備としてなくさないように大切に保管してください。キーを紛失したときは、お買い上げの販売店または裏表紙にあるお客様相談窓口にご相談ください。

## 警告ラベル・注意ラベルについて

- 警告ラベル・注意ラベルは特に重要と考えられる事項について記載しています。必ずお読みのうえ正しくお使いください。
- 警告ラベル・注意ラベルが汚れたり、はがれたときはお買い上げの販売店へ注文してください。



## 臭いについて

- 生産後すぐ梱包していますので、設置直後は庫内に臭いが残っていることがあります。換気をよくし、しばらく扉を開けて臭いがなくなってから使用してください。

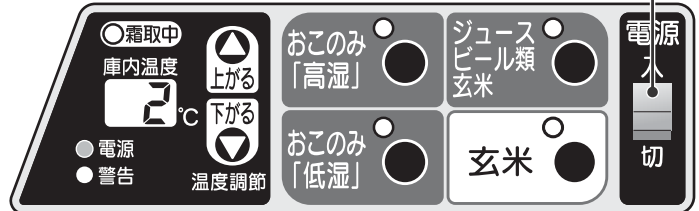
# ご使用方法

## 運転のしかた

### 1 電源スイッチを「入」にします。

- 電源ランプが点灯し、コースランプと庫内温度表示部が10秒間点滅します。

点滅中(10秒以内)に 2 へ



### 2 貯蔵物に適した、コースキーを押します。

玄米コース	おこのみ「高湿」コース	おこのみ「低湿」コース	ジュース・ビール類・玄米コース
<ul style="list-style-type: none"> <li>●玄米を貯蔵するためのコースです。</li> <li>●初期設定は13°Cです。</li> <li>●おこのみの温度に設定できます。</li> <li>●玄米を保存するときは、必ず玄米コースをご使用ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●野菜などを一時保冷するためのコースです。</li> <li>●初期設定は2°Cです。</li> <li>●おこのみの温度に設定できます。</li> <li>※野菜・果物などの予冷には適しておりません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お茶や乾物などを貯蔵するためのコースです。</li> <li>●初期設定は5°Cです。</li> <li>●おこのみの温度に設定できます。</li> <li>※貯蔵物の除湿(乾燥)には使えません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●玄米とジュースやビール類を一緒に貯蔵するためのコースです。</li> <li>●初期設定は5°Cです。</li> <li>●おこのみの温度に設定できます。</li> <li>※玄米の貯蔵は低温にしても影響ありません。</li> </ul>

(※下図は玄米コースキーを押したときを示します。)

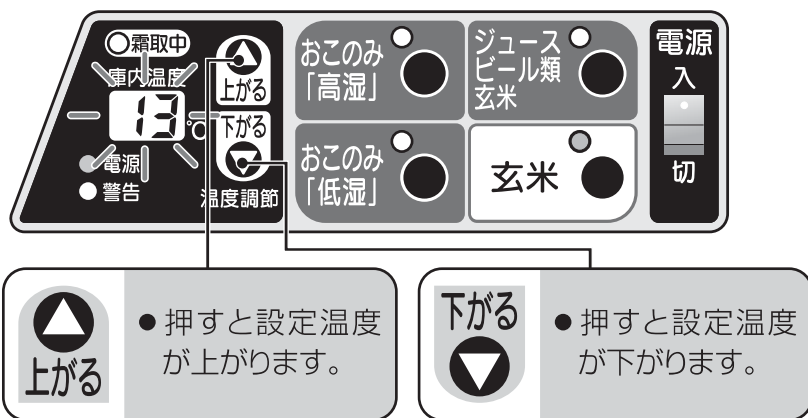
The diagram shows the control panel with callouts for the '玄米' (Rice) course. The power switch is set to '電源 入' (Power On). The '玄米' button is highlighted.

- ジュース・ビール類・玄米**
  - ジュース・ビール類・玄米コースランプが点滅します。
  - 庫内温度表示部が点滅します。
- おこのみ「高湿」**
  - おこのみ「高湿」コースランプが点滅します。
  - 庫内温度表示部が点滅します。
- おこのみ「低湿」**
  - おこのみ「低湿」コースランプが点滅します。
  - 庫内温度表示部が点滅します。

### 3 庫内温度を設定します。

- 2～18℃の範囲で設定してください。

(※下図は玄米コースで設定温度を13℃にしたときを示します。)



最後の設定が終わって10秒後  
**自動的に運転がはじまります。**

※冬期など周囲温度が設定温度よりも低いときは、冷却運転をおこないません。

- 選択したコースのランプが点滅から点灯になります。
- 庫内温度表示部には現在の庫内温度が表示され、徐々に設定温度に向かいます。

#### ● 庫内湿度のめやす

コース名	庫内湿度の目安(周囲温度25℃のとき)
玄米コース	設定温度13℃で 約60～70%
おこのみ「高湿」コース	設定温度2℃で 約70～80%
おこのみ「低湿」コース	設定温度5℃で 約50～60%
ジュース・ビール類・玄米コース	設定温度5℃で 約60～70%

※上表の庫内湿度は参考値です。扉の開閉頻度や周囲の温度・湿度によって変わります。

#### 点滅中(10秒以内)に設定できなかったとき

- 現在運転しているコースキーを1秒以上押し続け、設定を解除してください。  
(触れただけでは解除されません。)  
点灯が点滅に変わり、設定を変更することができます。  
(詳しくはP.15の「運転中に設定(コース・温度)を変えたいとき」をご覧ください。)
- 設定温度のみを変更するときはP.15「運転中に設定温度のみを変えたいとき」をご覧ください。

# ご使用方法

## 運転中に設定(コース・温度)を変えたいとき

### 1 設定を解除します。

- 現在運転しているコースキーを1秒以上押し続けます。(触れただけでは解除されません。)
- コースランプと庫内温度表示部が点滅になります。

点滅中に(10秒以内に) 2へ

### 2 設定を変更します。

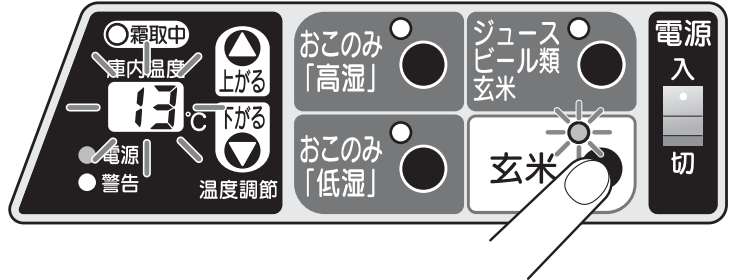
- ご希望のコース・温度に設定を変えてください。

温度は2℃～18℃の範囲で設定してください。

最後の設定が終わって10秒後  
自動的に運転がはじまります。

現在運転しているコースキーを1秒以上押し続ける。

(※下図は玄米コースから変更したいときを示します。)



#### 初期設定温度

玄米コース	13℃
おこのみ「高湿」コース	2℃
おこのみ「低湿」コース	5℃
ジュース・ビール類・玄米コース	5℃

## 運転中に設定温度のみを変えたいとき

### 1 温度調節キーを押します。どちらか一方を一度押す。

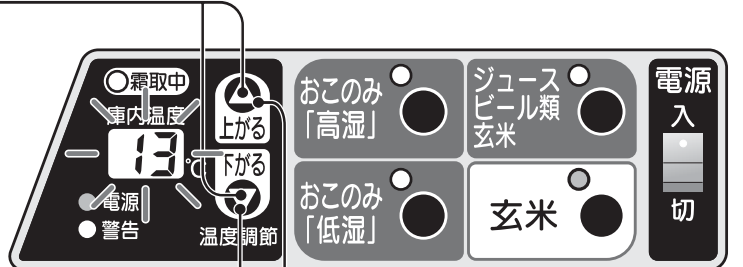
- 庫内温度表示部には、現在の設定温度が点滅表示します。
- ※このとき運転は続けています。

点滅中に(5秒以内に) 2へ

### 2 温度を設定します。

2℃～18℃の範囲で設定してください。

最後の設定が終わって5秒後  
自動的に運転がはじまります。





- 押すと設定温度が上がります。



- 押すと設定温度が下がります。




## 低電圧検出表示と解除方法


- 電気工事が適切でないとき、消費電力の大きな機器(エアコン、精米機、もみ乾燥機など)と併用したとき、規定に合わない延長コードの使用やタコ足配線により電圧が低くなったときなど低電圧検出が働き庫内温度表示部に  ↔  のようにvLと庫内温度の交互表示をします。


このようなときは、適切な処置をしてから解除してください。(電源を入れ直しても解除できません。)

適切な処置をしても表示するときは、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へご連絡ください。

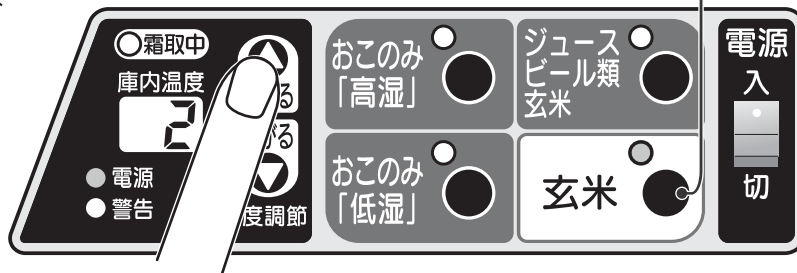
**1**  キーを押しながら

**2** 玄米コースキーを1度押します。


- 庫内温度表示部に  が10秒間点滅します。

 キーを押している指をはなします。

点滅中(10秒以内)に **3** へ



**3**  または  キーのどちらかを押します。

※低電圧検出していないときは、**2** のとき庫内温度表示部は  (no)を10秒間点滅します。

**4** 庫内温度表示部に庫内温度が表示されたら解除完了です。

※解除をおこなっても電圧が低くなったときは、再び、低電圧検出表示をおこないます。

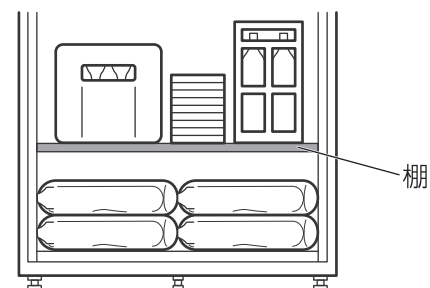
# ご使用方法

## 棚の使いかた

- 玄米袋が減ってきたら、付属の棚を取り付けるとジュースやビールなどの保管に便利です。

**重要**

- 玄米とビールやジュースなどを一緒に入れるときは必ず「ジュース・ビール類・玄米コース」で貯蔵してください。玄米の品質が低下するおそれがあります。



## 棚の取り付け・取りはずしかた

- 棚の高さは5cm間隔で変えられます。貯蔵物に合わせて棚の取り付け位置を調節してください。

	棚の切替段数
ARV-28BSF	11段
ARV-32BSF	11段

**棚の許容荷重 60Kg**

**注意**



禁止

- 棚には60kgを超えるものをのせない。破損によるケガの原因になることがあります。



必ず実施

- 貯蔵物は棚に均一に静かにのせる。
- 棚受け・棚の取り付けは、正しく確実にこなう。脱落するとケガの原因になることがあります。

### ① 棚受け2個を左右で高さが同じ位置になるよう棚柱に取り付けます。

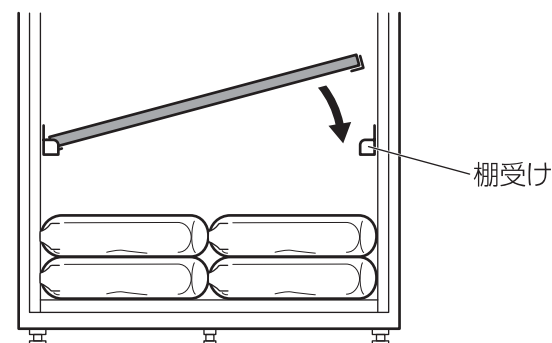
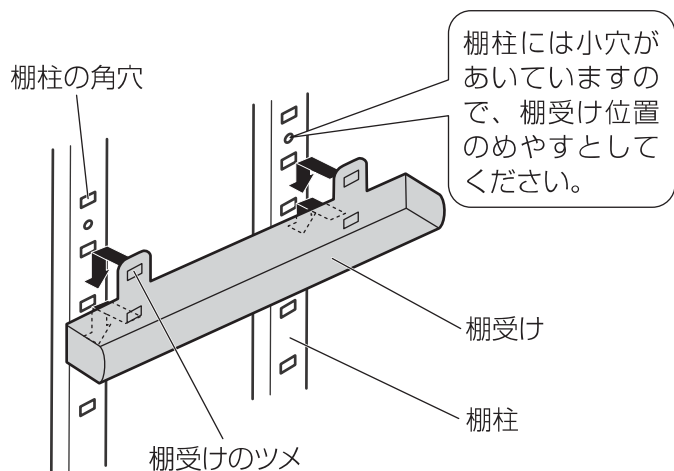
- 棚柱の角穴4カ所(左右2カ所ずつ)と棚受けのツメ4カ所(左右2カ所ずつ)を合わせます。
- 棚受けを押し付けながら下側にスライドさせ、しっかり取り付けます。

### ② ① で取り付けした棚受けに棚を片側からのせ、静かにセットします。

- 取りはずすときは逆の手順でおこなってください。

### 棚受けの取りはずしについて

- 棚を取り付けないときは、棚受けを取りはずしてください。棚受けで玄米袋がやぶれる原因になります。



# 点検とお手入れのしかた

## 点検について

- 次の項目は特に重要ですので日常のお手入れのほかに定期的に点検してください。

点検箇所	点検内容	処 置
水滴受け	● 水滴受けに水がたまっていないか。	● 水滴受けの水をタオルなどで吸い取る。
水受け	● 水受けに水がたまっていないか。	● 水受けの水を捨てる。
ドレンホース	● 先が曲がっていたり、水受けにたまった水の中にはいついていないか。	● 水受けの水を捨てる。
	● 取り付け部からの水もれはないか。	● 水もれがあるときはお買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡する。
	● ゴミが詰まっていないか。	● ゴミを取り除く。
電源プラグ	● 接続部が抜けかかっているか。	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込む。
	● 刃部にホコリが付着していないか。	● 刃部のホコリを取り除く。
電源コード アース線	● 傷んでいないか。	● 傷んでいるときはお買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡する。

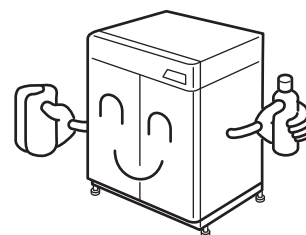
詳しくは [P.1~2 安全のために必ずお守りください] に記載されていますので、よくお読みください。  
[P.23 修理を依頼されるまえに]

原因がわからないときや処置が難しいときは、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。

## お手入れするまえに

- 台所用中性洗剤(食器用・調理器具用)をお使いください。

シンナー・ベンジン・クレンザー・漂白剤・たわし・化学ぞうきんなどは、表面を傷付けますので使用しないでください。



### 警告



水ぬれ禁止

- 製品に直接水をかけて洗わない。  
感電・ショート・漏電・故障・サビの原因になります。



分解禁止

- お客様ご自身で分解したり修理・改造は絶対しない。  
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。  
修理はお買い上げの販売店または裏表紙に記載されているお客様相談窓口にご相談ください。

### 注意



電源プラグを抜く

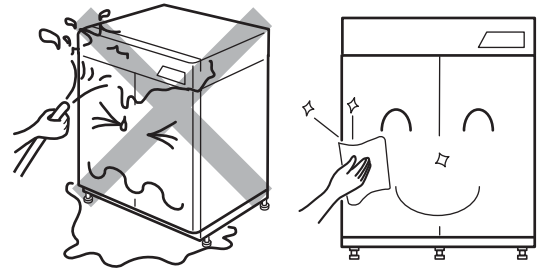
- お手入れするときは、電源スイッチを「切」にしてから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

# 点検とお手入れのしかた

## 本体・扉・扉パッキン・庫内の清掃

- 汚れたら洗剤をうすめた水またはぬるま湯にやわらかい布をひたし、よくしぼってから拭き取ってください。



### 警告



- 製品に直接水をかけて洗わない。  
感電・ショート・漏電・故障・サビの原因になります。

### お願い

- 庫内は、汚れがひどかったり、水分が多く付着しているとカビやサビが発生することがありますので、いつもきれいにしておいてください。
- アジャスター調節口は排水口ではありませんので、水を流さないでください。
- 扉パッキンは引っぱったり、変形させないでください。  
冷気もれ、庫内の結露、性能低下の原因になることがあります。

## スノコの清掃

- スノコを取り出して掃除機やブラシを使ってホコリを取り除いてください。また、汚れがひどいときは水またはぬるま湯を使って丸洗いをしてください。

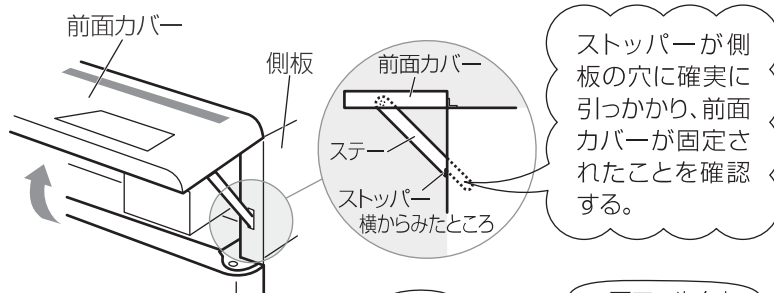
庫内に戻すときは水分を取り、充分乾燥させてから、平らな面を上にして置いてください。

## エアフィルタ・凝縮器フィン・吸気口・排熱口の点検と清掃

- 1カ月に一度、必ず清掃してください。

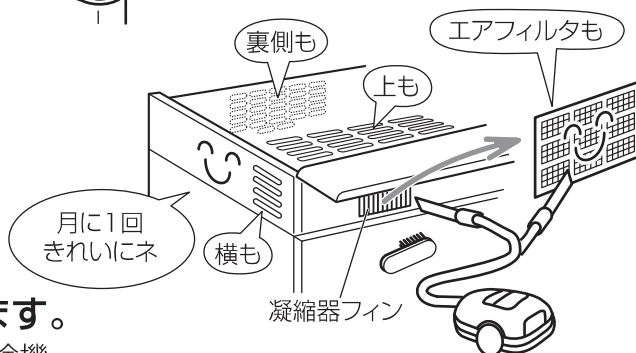
### 清掃手順

- 1** 前面カバーを開けてステーで固定します。



- 2** エアフィルタをはずして清掃します。


- エアフィルタを手前に引いてはずします。
- 柔らかい毛のブラシや掃除機を使ってホコリを取り除いてください。また、水またはぬるま湯で丸洗いもできます。



- 3** 凝縮器フィン、排熱口、吸気口を清掃します。

- 凝縮器フィン、排熱口、吸気口についたホコリは掃除機と柔らかい毛のブラシを使って取り除いてください。
- ブラシは凝縮器フィンにそってやさしく動かしてホコリを取り除いてください。

**注意**

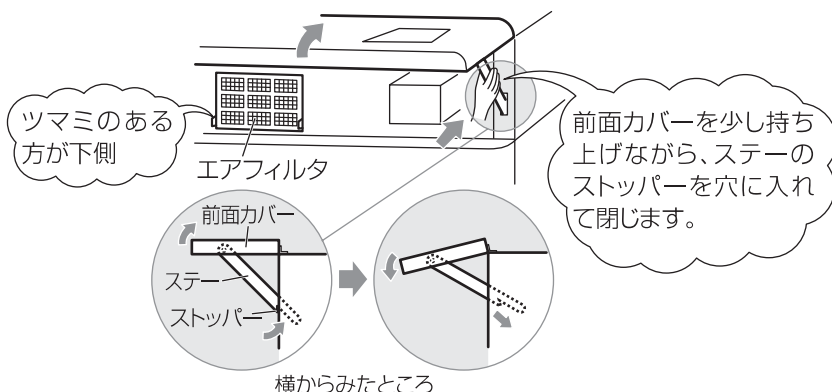
 凝縮器フィンを直接手でさわらない。  
接触禁止 ケガの原因になることがあります。

- 4** エアフィルタを取り付け、前面カバーを元どおりにします。







- エアフィルタを取り付けます。  
エアフィルタは、マグネットによる吸着式になっています。
- 前面カバーを少し持ち上げながら、ステーのストッパーを穴に入れて閉じます。

**お願い**

- 凝縮器フィンは変形させないでください。刃物や先の鋭いものは使わないでください。変形や破損させると故障の原因になります。



# 庫内温度表示部にこんな表示が出たときは

..... (表示) .....	..... (内容) .....	..... (処置) .....
 ● L表示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 庫内温度が-9℃よりも低い状態になっています。(運転停止している。)</li> </ul>	<p>製品の異常ではありません。冬期など周囲温度が低いときに表示することがあります。庫内温度が設定温度より高くなると自動的に運転を開始します。</p>
 ● H表示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 庫内温度が40℃よりも高い状態になっています。(運転している。)</li> </ul>	<p>製品の異常ではありません。庫内に熱いものを多量に入れたり、周囲が異常に高温になっていないか確認してください。</p>
 / ●霜取中 ● dF表示している。(霜取中ランプ点灯)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 霜取り運転中です。</li> </ul>	<p>製品の異常ではありません。霜取りが終わると通常運転になります。(P8をご覧ください。)</p>
 / ●警告 ● 庫内温度を表示しているとともに警告ランプが点滅している。(20は例です。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転しているが、庫内温度が下がらない、または上昇している状態です。(運転している。)</li> </ul>	<p>扉を確実に閉めてください。また直射日光があたっていたり、周囲が高温になっていないか確認してください。数日しても表示が消えないときは、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡してください。</p>
 ● vLと庫内温度が交互に表示している。(13は例です。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動作中、電源電圧の異常な低下を検出しました。</li> <li>例) ● 電気工事が適切でないとき</li> <li>● 消費電力の大きな機器と併用したとき(エアコン、精米機、もみ乾燥機など)</li> <li>● 規定に合わない延長コードを使用したとき</li> </ul>	<p>製品の異常ではありません。延長コードをご使用の場合は、芯線の太さが2mm<sup>2</sup>以上、長さが10m以下であるか確認してください。延長コードを交換するなどの適切な処置をしてから解除してください。(P.16をご覧ください。)</p> <p>何度も表示するときは、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡してください。</p>
 ● vH表示しているとともに警告アラームが鳴っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源が異常に高い電圧を検出しました。(製品保護のため運転を停止しています。)</li> </ul>	<p>製品の異常ではありません。電源スイッチを「切」にして、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡していただくか、電気工事会社に点検をご依頼ください。</p>

..... (表示) ..... (内容) .....

..... (処置) .....



● E0表示しているとともに警告ランプが点滅し、警告アラームが鳴っている。

● 庫内温度検知部が故障しています。



● E1表示しているとともに警告ランプが点滅し、警告アラームが鳴っている。

● 庫内温度検知部が故障しています。



● E3表示しているとともに警告ランプが点滅し、警告アラームが鳴っている。

● 冷却ユニット温度検知部が故障しています。



● E4表示しているとともに警告ランプが点滅し、警告アラームが鳴っている。

● 冷却ユニット温度検知部が故障しています。



● E5表示しているとともに警告ランプが点滅し、警告アラームが鳴っている。

● 周囲温度検知部が故障しています。



● E6表示しているとともに警告ランプが点滅し、警告アラームが鳴っている。

● 周囲温度検知部が故障しています。

**非常運転に切り替わります。**  
警告アラームを解除して、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡してください。(P.11をご覧ください。)

**非常運転について**

● 庫内温度検知部などが故障したときは非常運転に切り替わり、冷却運転を続けます。これは今まで冷やしていた庫内の状態をできるだけ長く保つためですが、早めにお買い上げの販売店またはお客様相談窓口へご連絡してください。

# 修理を依頼されるまえに

「故障かな?」と思ったときは次の点をお確かめください。

- 次の点検をしてもなお不具合が生じるときは、お買い上げの販売店または裏表紙にあるお客様相談窓口にご相談・点検をご依頼ください。
- ご自分での分解や修理は危険ですから絶対にしないでください。

## 「庫内がまったく冷えない」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。	P.6
2 ご家庭のブレーカーが「OFF」になっていませんか。	2 ブレーカーを「ON」にしてください。	P.1
3 電源ランプが点灯していますか。	3 電源スイッチを「入」にしてください。	P.13
4 電源スイッチが「切」になっていませんか。	4 電源スイッチを「入」にしてください。	P.13

## 「温度が下がらない」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 貯蔵物を入れた直後ではありませんか。	1 温度が下がるまでお待ちください。	P.5・7
2 直射日光があたっていませんか。	2 直射日光があたらないようにしてください。	P.25
3 周囲の風通しが悪くありませんか。	3 換気装置を設けて風通しをよくしてください。	P.25
4 扉を頻繁に開けていませんか。	4 扉の開閉はできるだけ少なく、開けている時間は短くしてください。	P.5
5 エアフィルタ・凝縮器フィン・吸気口・排熱口にホコリがたまっていたり、ふさいでいる物はありませんか。	5 ホコリまたはふさいでいる物を取り除いてください。	P.2・20
6 貯蔵物は決められた範囲を超えて積み込んでいませんか。	6 正しく積み込みをしているか確認をして、積み込み過ぎた貯蔵物は取り出してください。	P.10
7 冷えた庫内に熱いもの（例：収穫直後の野菜・粉すり直後の玄米など）を入れていませんか。	7 熱いものは室温まで冷ましてから入れてください。	P.5
8 野菜・果物などをそのままの状態で作貯蔵していませんか。	8 野菜・果物などはポリエチレンシートやポリ袋で包装してください。	P.5・11
9 扉はしっかり閉まっていますか。	9 扉を確実に閉めてください。	P.5
10 アジャスター調節口ふたはしっかり取り付けられていますか。	10 アジャスター調節口ふたを時計回りの方向に回し、必ずロックしてください。	P.41
11 タコ足配線をしていませんか。	11 タコ足配線はやめてください。	P.1
12 不適切な延長コードを使っていませんか。	12 適切な延長コードを使用してください。 (太さ2mm <sup>2</sup> 以上、長さ10m以下)	P.1

## 「温度が下がりすぎている」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 周囲温度が設定温度より低くありませんか。	1 周囲温度によって庫内が冷やされているため故障ではありません。	P.6

## 「庫内に水滴が落ちてくる」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 扉がわずかに開いた状態ではありませんか。	1 庫内を乾燥したタオルで拭き取り、扉を確実に閉めてください。	P.5
2 アジャスター調節口ふたはしっかり取り付けられていますか。	2 アジャスター調節口ふたを時計回りの方向に回し、必ずロックしてください。	P.41
3 ドレンホースにゴミがつまっていますか。	3 ドレンホースのゴミを取り除いてください。	P.18
4 ペットボトルや一升ビンなどの口の小さなものを水受けとして使用していませんか。	4 口が広く、大きなものを水受けとして使用してください。	P.2
5 ドレンホースの先が上に曲がったり、水受けにたまった水の中に入っていないですか。	5 曲がりを直してください。 水受けにたまった水を捨ててください。	P.2・18



# 組立・設置方法

## 安全上のご注意

- この製品を組立・設置されるまえに、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく組立・設置してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

### 警告

<p><b>!</b> 必ず実施</p> <p><b>組立・設置は専門業者が本書の組立・設置方法にしたがって実施する。</b> お客様ご自身で組立・設置をされ不備があると、感電・火災・水もれの原因になります。</p>	<p><b>!</b> 必ず実施</p> <p><b>電気工事、配線は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および本書の組立・設置方法にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する。</b> 電源回路不良、容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。</p>
<p><b>!</b> アース線接続</p> <p><b>アース工事を必ずおこなう。</b> アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。 不完全なアースは、感電・火災の原因になります。既設のアースがないときは、電気工事業者によるD種接地工事をおこなってください。</p>	<p><b>!</b> 必ず実施</p> <p><b>漏電遮断器を必ず取り付ける。</b> (推奨漏電遮断器：定格電流 15A (定格感度電流 30mA)) 漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。</p>
<p><b>!</b> 必ず実施</p> <p><b>電源は本機の定格電圧・周波数で使用する。</b> 火災・発火・発煙の原因になります。</p>	<p><b>!</b> 必ず実施</p> <p><b>交流100V・15A以上の安全ブレーカー、コンセントを単独で使用する。</b> 他の機器とタコ足配線すると発熱による火災の原因になります。</p>
<p><b>!</b> 必ず実施</p> <p><b>延長コードを使用するときは、太さ2mm<sup>2</sup>以上、長さ10m以下にする。</b> 発熱による火災の原因になります。電圧降下により、正常に作動しない原因になります。</p>	<p><b>!</b> 禁止</p> <p><b>可燃性ガスのもれるおそれのある場所に設置しない。</b> 万一ガスがもれ、ユニットの周囲にたまると爆発・火災・発火・発煙の原因になります。</p>
<p><b>!</b> 禁止</p> <p><b>屋外に設置しない。</b> 雨・霧のかかる場所で使用されると、感電・漏電の原因になります。</p>	<p><b>!</b> 分解禁止</p> <p><b>改造は絶対しない。</b> 改造工事をされると、感電・火災・水もれの原因になります。</p>

### 注意

<p><b>!</b> 必ず実施</p> <p><b>床面が丈夫で平らな場所に水平になるように設置する。</b> 設置に不備があると転倒によるケガ・水もれ・冷気もれなどの原因になることがあります。</p>	<p><b>!</b> 禁止</p> <p><b>床がぬれてはいけない場所に設置しない。</b> 湿度が高いとき、製品の外側や扉回りに結露した露が滴下し、床面をぬらす原因になることがあります。</p>
<p><b>!</b> 禁止</p> <p><b>アジャスターは最大調節高さ100mm以上に伸ばさない。</b> はずれると製品転倒などによる、ケガの原因や、本体がゆがむなどして冷却性能を損なう原因になることがあります。</p>	<p><b>!</b> 禁止</p> <p><b>冷却ユニットは凹凸のある場所には置かない。</b> 冷却ユニットの下面に貼付されているパッキンが変形し、冷気もれの原因になることがあります。</p>

# 組立・設置方法

## 設置作業をされる方へのお願い

- 設置作業は、本体および冷却ユニットの重さを充分考慮のうえ、安全におこなってください。

形 式	組み上がり後の総質量	本体の質量	冷却ユニットの質量
ARV-28BSF	約145kg	約124kg	約21kg
ARV-32BSF	約154kg	約133kg	

- 組立・設置完了後、試運転をおこない異常がないことを確認し、説明書にしたがって使用方法、お手入れのしかた、保証書にしたがって修理規定の説明をしてください。
- 扉は常に施錠するように説明をしてください。子供が中に入り閉じ込められると、酸欠により死亡するなど事故の原因になります。
- この説明書は、保証書と一緒にお客様が保管していただくことを説明してください。

### ⚠ 注意



組立・設置は、周囲の安全を確認した上で2人作業でおこなう。1人での作業はケガの原因になります。

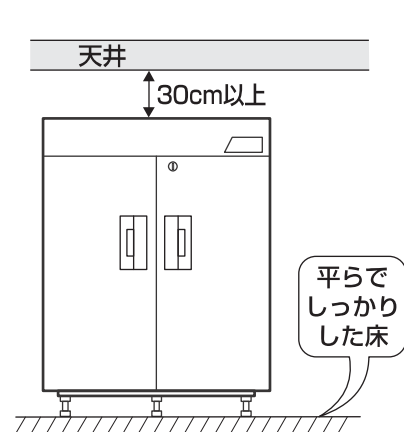
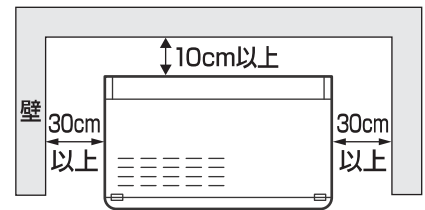
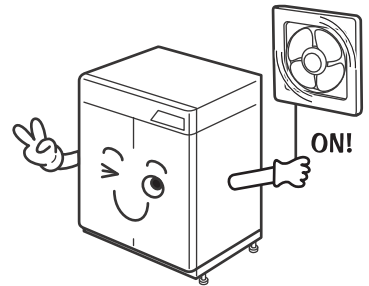
## 設置スペースおよび設置時のご注意

この製品を設置されるときは、下記事項を必ずお守りください。

- 冷却ユニットは放熱がありますので、壁から離して、風通しをよくしてください。風通しが悪いと結露したり、冷却能力が低下します。**風通しが悪い場所・製品の周囲にスペースが取れない場所に設置するときは、必ず、換気装置を設けてください。**

製品の周囲は、左右30cm、後面10cm、上面30cm以上のスペースを取ってください。

- 直射日光のあたる場所には設置しないでください。直射日光のあたる場所に設置するときは、冷却能力の低下を防ぐため、必ず日除けを設けてください。
- 周囲温度が35℃を超える場所に設置しないでください。周囲温度が35℃を超えても運転はおこないますが、冷却能力が低下して冷えない原因になります。また、保護装置が作動する場合があります。



## 製造No.の記入について

組立・設置をする前に本体・冷却ユニット・付属品セットの製造No.を受領証(保証書裏側)に必ず控えてください。製造No.は、下記の場所に表示されています。

**本体** …… 庫内右側面の上部に貼付の定格ラベル

**冷却ユニット** …… 梱包箱または冷却ユニットに貼付のラベル

**付属品セット** …… コントロールボックスに貼付のラベル

## タッピンネジの締め付けについて

ドライバーでしっかり締め付けます。

タッピンネジは、大きなトルクで締め付けるとカラ回りするおそれがありますので、電動ドライバーを使用するときは、トルク1.47N・m(15kgf-cm)以下でおこなってください。

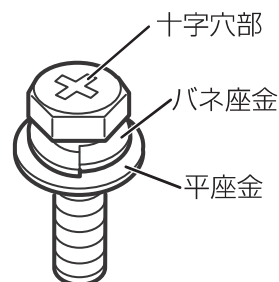
## 六角ボルトの締め付けについて

### ●仮締めの方法

ドライバーまたは手で2～3回転ねじ込んでから電動ドライバーで軽く締め付けてください。はじめから電動ドライバーで締め付けるとボルトがななめに入って回らなくなったり、十字穴部がつぶれるおそれがあります。

### ●本締めの方法

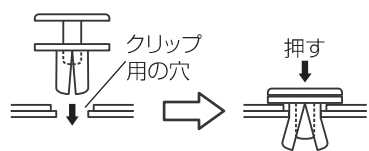
バネ座金がつぶれるところまでスパナで締め付けてください。強く締めすぎるとネジ部を切断するおそれがあります。また電動ドライバーを使用すると十字穴部がつぶれるおそれがあります。



## クリップの取り付けについて

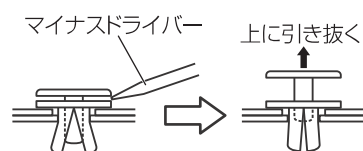
### — クリップの取り付けかた —

クリップ用の穴にクリップを入れ、上から押して固定します。



### — クリップの取りはずしかた —

クリップの間に、マイナスドライバーなどを入れ、すきまをあけて引き抜きます。



# 組立・設置方法

## 組立・設置に必要な主な工具

●必要な工具を準備してください。

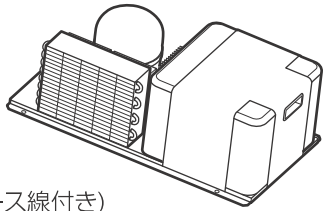
- ・ ⊕ドライバー(3番・2番)
- ・ ラチェットハンドル
- ・ ソケット(13mm)
- ・ エクステンションバー
- ・ スパナ(10mm・24mm)
- ・ 六角ビットソケット(8mm)
- ・ 電動ドライバー[⊕のビット(2番)]
- ・ 踏み台または脚立
- ・ 水準器
- ・ カッター
- ・ ウェス

## 付属品の確認

●必要な部品が揃っていることを確認してください。

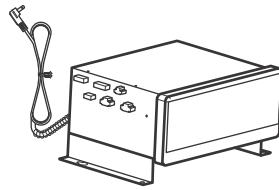
●この製品は、本体・付属品セット・可変棚・冷却ユニットの4梱包で1製品となっています。

冷却ユニット(製品コード ARVC20-0)



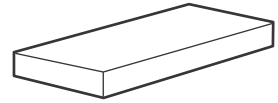
(アース線付き) 1個

コントロールボックス(ARV)



1個

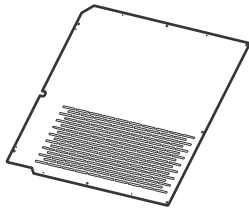
可変棚 AR-T28A  
(製品コード AR-T28A-0VZ)



※組立は可変棚に付属の取付説明書をご覧ください。

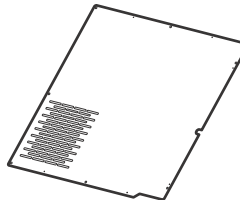
1個

吸気板左(本体内部に梱包されています)



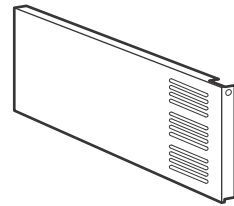
1個

吸気板右(本体内部に梱包されています)



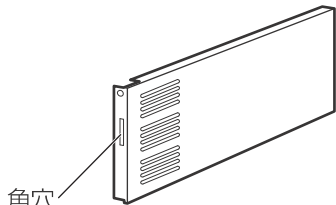
1個

側板左



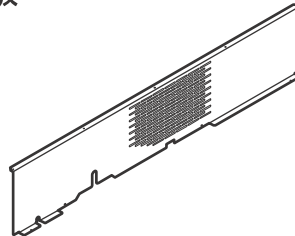
1個

側板右



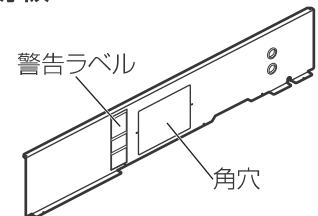
1個

排熱板



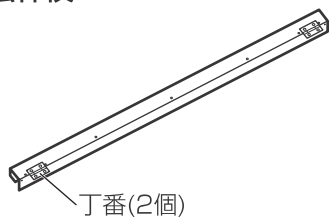
1個

風導板



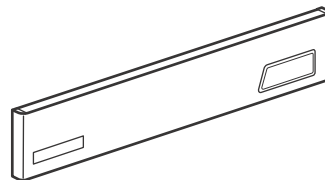
1個

補強枠横



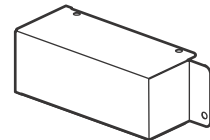
1個

前面カバー



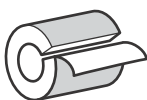
1個

コネクタカバー



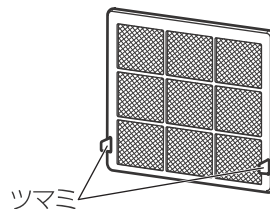
1個

パイプカバー



1個

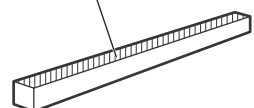
エアフィルタ



1個

スキマパッキン

接着剤が付いています



1個

<p><b>ドレンパイプカバー</b></p>  <p>両面テープが付いています。</p> <p>1個</p>	<p><b>ドレンホース</b></p>  <p>1個</p>	<p><b>ホースガード(コイル)</b> (ドレンホースに取り付けられています)</p>  <p>2個</p>																						
<p><b>ステー</b></p>  <p>1個</p>	<p><b>ホースクランプ</b></p>  <p>3個</p>	<p><b>電源コードクランプ</b></p>  <p>1個</p>																						
<p><b>電源コードガードクランプ</b></p>  <p>1個</p>	<p><b>グロメット(黒いゴム)</b></p>  <p>2個</p>	<p><b>コードキープ</b></p>  <p>3個</p>																						
<p><b>キー</b></p>  <p>2個</p>	<p><b>クリップ</b></p> <table border="1"> <tr><td>風導板</td><td>2個</td></tr> <tr><td>吸気板</td><td>11個</td></tr> </table>  <p>13個</p>	風導板	2個	吸気板	11個	<p><b>六角ボルト</b></p> <table border="1"> <tr><td>冷却ユニット</td><td>4個</td></tr> </table>  <p>径 長さ 6mm×18mm</p> <p>4個</p>	冷却ユニット	4個																
風導板	2個																							
吸気板	11個																							
冷却ユニット	4個																							
<p><b>タップネジ</b></p> <table border="1"> <tr><td>風導板</td><td>2個</td></tr> <tr><td>前面カバー</td><td>4個</td></tr> </table>  <p>径 長さ 4mm×8mm</p> <p>6個</p>	風導板	2個	前面カバー	4個	<p><b>タッピンネジ</b></p> <table border="1"> <tr><td>側板左右</td><td>6個</td></tr> <tr><td>コントロールボックス</td><td>2個</td></tr> <tr><td>風導板</td><td>5個</td></tr> <tr><td>電源コードクランプ</td><td>1個</td></tr> <tr><td>コネクターカバー</td><td>3個</td></tr> <tr><td>補強枠横</td><td>2個</td></tr> <tr><td>排熱板</td><td>5個</td></tr> <tr><td>電源コードガードクランプ</td><td>1個</td></tr> </table>  <p>径 長さ 4mm×8mm</p> <p>25個</p>	側板左右	6個	コントロールボックス	2個	風導板	5個	電源コードクランプ	1個	コネクターカバー	3個	補強枠横	2個	排熱板	5個	電源コードガードクランプ	1個	<p><b>ドリルネジ</b></p> <table border="1"> <tr><td>ホースクランプ</td><td>6個</td></tr> </table>  <p>径 長さ 4mm×13mm</p> <p>6個</p>	ホースクランプ	6個
風導板	2個																							
前面カバー	4個																							
側板左右	6個																							
コントロールボックス	2個																							
風導板	5個																							
電源コードクランプ	1個																							
コネクターカバー	3個																							
補強枠横	2個																							
排熱板	5個																							
電源コードガードクランプ	1個																							
ホースクランプ	6個																							

## 組立



警告



必ず実施

組立時には、手袋・ヘルメット・安全靴を着用する。  
落下・手のはさみ込みなどによるケガの原因になります。

### 1 冷却ユニットを取り付ける。

必要なネジ

六角ボルト 4個

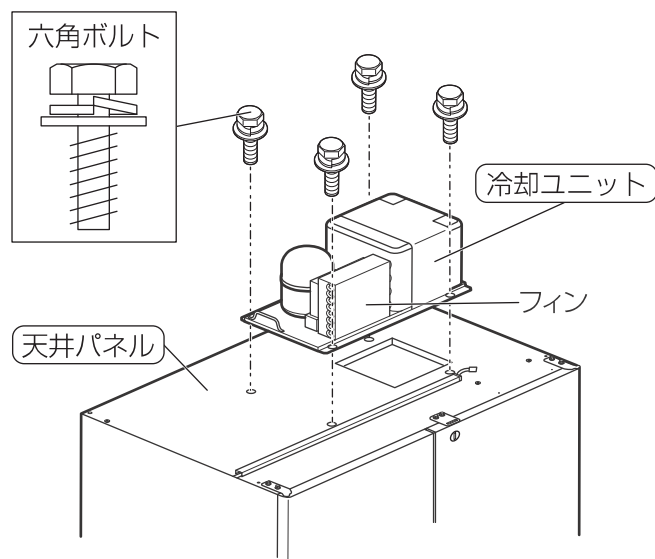
使用する工具

⊕ドライバー(3番)・スパナ(10mm)

- 1 天井パネルの上に冷却ユニットをのせます。
- 2 冷却ユニットを六角ボルトで固定します。  
(4カ所)

#### 重要

- 冷却ユニットを取り扱うときは、フィンに手をふれないでください。  
フィンが曲がり冷却能力が低下します。
- 冷却ユニットは静かにのせ、ひきずらないでください。  
冷却ユニットが損傷したり、天井パネルに傷が付きます。
- 冷却ユニットは逆さにしたり横にしないでください。  
機能に支障が出るおそれがあります。
- 落下したものは使用しないでください。  
冷媒もれにより庫内が冷えなかったり、故障の原因になります。



### 2 コントロールボックスを仮置きする。

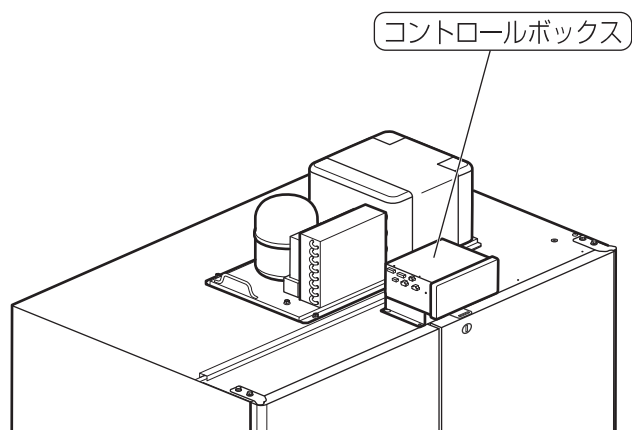
- 風導板を取り付ける(次行程)ためにコントロールボックスを天井パネルに仮置きします。

#### 注意

ここではコントロールボックスを取り付けないでください。コントロールボックスを取り付けると風導板の取り付けができなくなります。

#### 重要

コントロールボックスには電子部品が入っていますので、テープで仮止めするなど落とさないようにして扱いにしてください。



# 3 風導板を取り付ける。

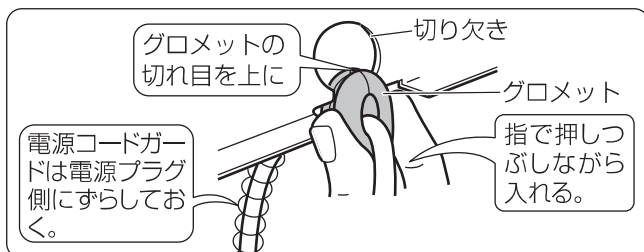
必要なネジ

タッピンネジ 5個・  
タップネジ 2個

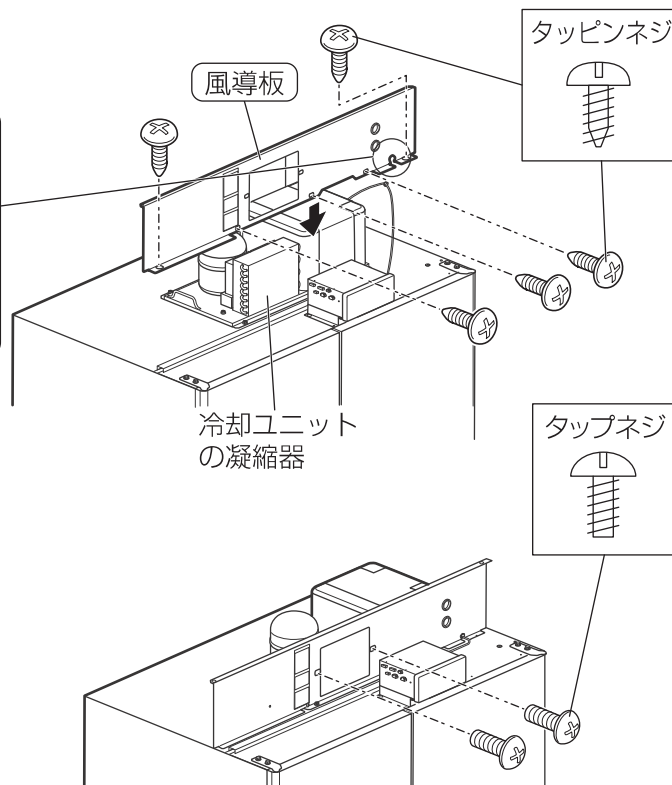
使用する工具

⊕ドライバーまたは  
電動ドライバー

- 1 グロメットの切れ目から電源コードを入れ、風導板の切り欠き部にはめ込みます。



- 2 風導板下側の穴と天井パネルの穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(2カ所)
- 3 冷却ユニットのベースの穴にタッピンネジで固定します。(3カ所)
- 4 冷却ユニットの凝縮器の両側の穴にタップネジで固定します。(2カ所)



# 4 コントロールボックスを取り付ける。

必要なネジ

タッピンネジ 2個

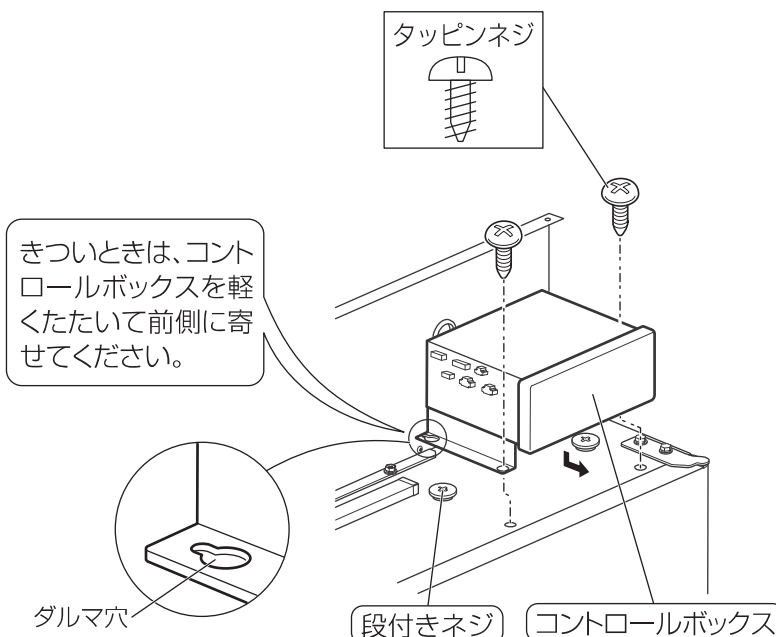
使用する工具

⊕ドライバーまたは電動ドライバー

- 1 コントロールボックスの後側の穴(ダルマ穴)を天井パネルに取り付けられている段付きネジに合わせ、前側に引き、コントロールボックスを保持します。(2カ所)
- 2 コントロールボックスの前側の穴と天井パネルの穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(2カ所)

## 重要

コントロールボックスには電子部品が入っていますので、ていねいに扱ってください。



# 組立・設置方法

## 5 配線をする。

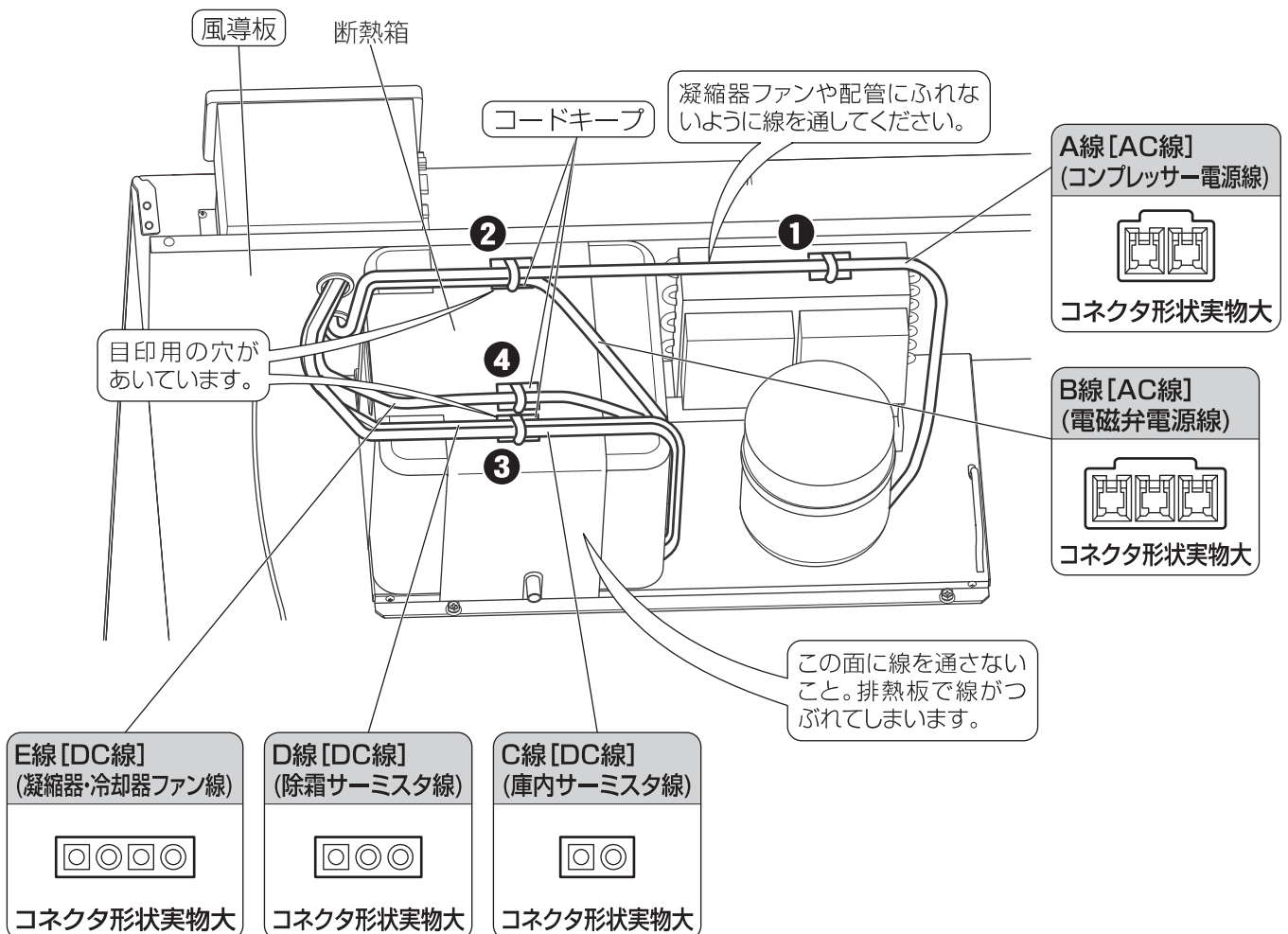
必要な部品

コードキープ 3個・電源コードクランプ 1個・  
タッピンネジ 1個

使用する工具

⊕ドライバーまたは  
電動ドライバー

- 1 冷却ユニットから出ているA線(コンプレッサー電源線)を凝縮器の上についているコードキープで固定します。
- 2 A線とB線(電磁弁電源線)を断熱箱の天板の前側に付属のコードキープで固定し、風導板の下の穴に通します。
- 3 冷却ユニットから出ているC線(庫内サーミスタ線)とD線(除霜サーミスタ線)を断熱箱の天板の後側に付属のコードキープで一緒に固定し、風導板の上の穴から通します。
- 4 冷却ユニットから出ているE線(凝縮器・冷却器ファン線)を断熱箱の天板の後側に付属のコードキープで一緒に固定し、風導板の上の穴から通します。

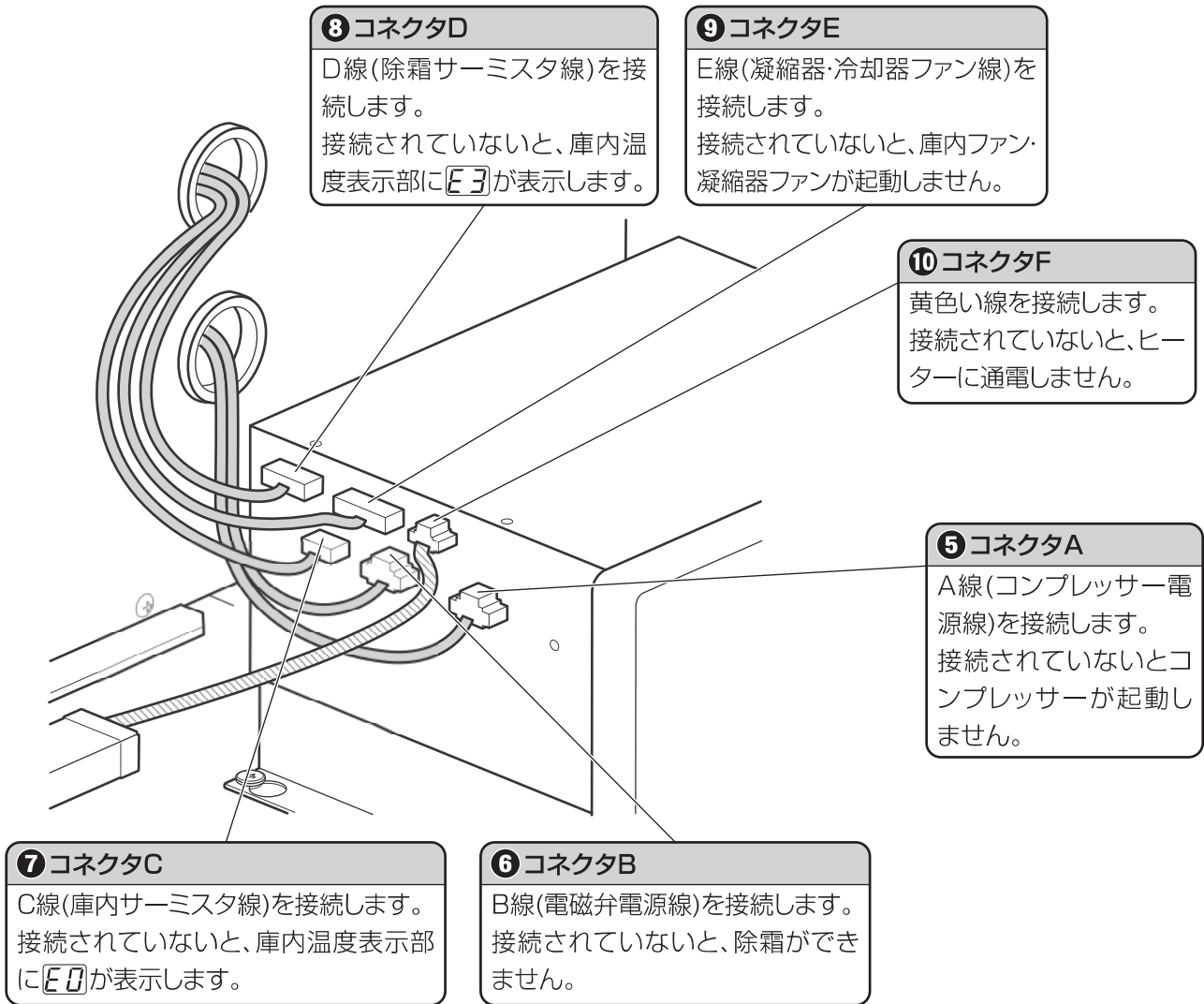


### 重要

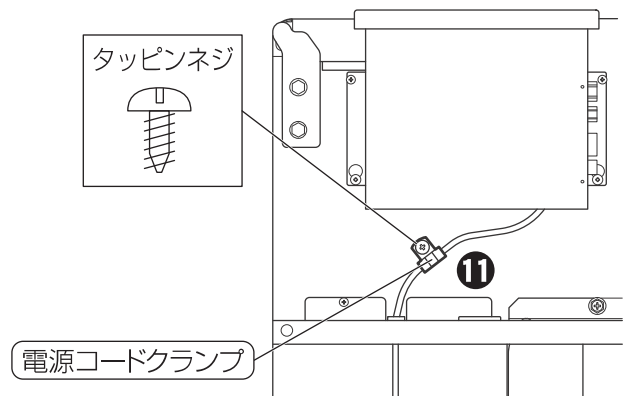
A線・B線とC線・D線・E線を交差させないでください。  
ノイズによる誤作動の原因になります。



- ⑤ A線をコントロールボックスのコネクタ(A)に接続します。
- ⑥ B線をコントロールボックスのコネクタ(B)に接続します。
- ⑦ C線をコントロールボックスのコネクタ(C)に接続します。
- ⑧ D線をコントロールボックスのコネクタ(D)に接続します。
- ⑨ E線をコントロールボックスのコネクタ(E)に接続します。
- ⑩ 本体から出ている黄色い線をコントロールボックスのコネクタ(F)に接続します。



- ⑪ 電源コードを電源コードクランプにはめ込み、タッピンネジで固定します。



# 組立・設置方法

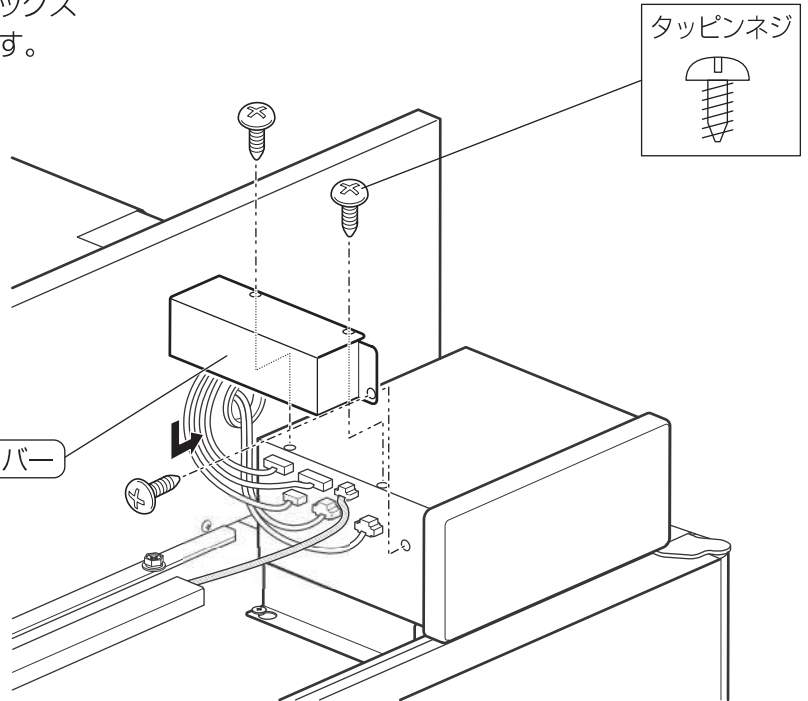
## 6 コネクタカバーを取り付ける。

必要なネジ | タッピンネジ 3個 | 使用する工具 | ⊕ドライバーまたは電動ドライバー

- コネクタカバーの穴とコントロールボックスの穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(3カ所)

### 注意

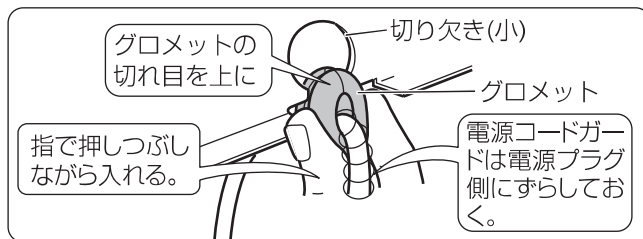
コネクタが確実に接続されていることを確認してからコネクタカバーを取り付けてください。



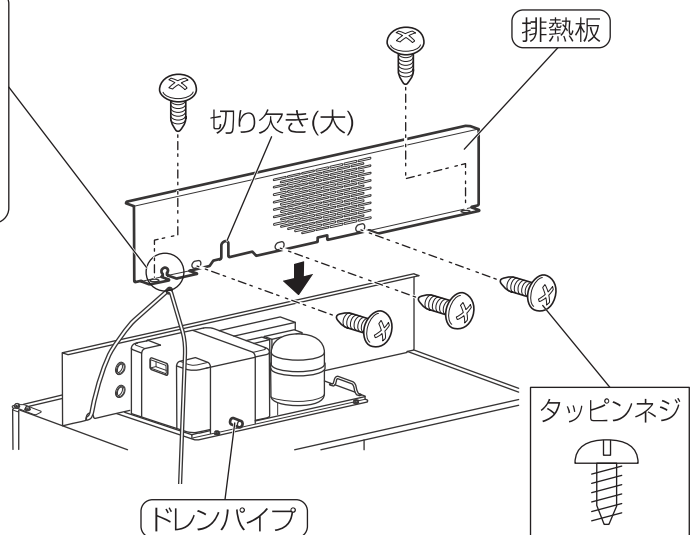
## 7 排熱板を取り付ける。

必要なネジ | タッピンネジ 5個 | 使用する工具 | ⊕ドライバーまたは電動ドライバー

- 1 グロメットの切れ目から電源コードを入れ、排熱板の切り欠き(小)にはめ込みます。



- 2 排熱板の切り欠き(大)をドレンパイプに合わせます。
- 3 排熱板下側の穴と天井パネルの穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(2カ所)
- 4 冷却ユニットのベースの穴にタッピンネジで固定します。(3カ所)



## 8 電源コードガード・ドレンパイプカバーを取り付ける。

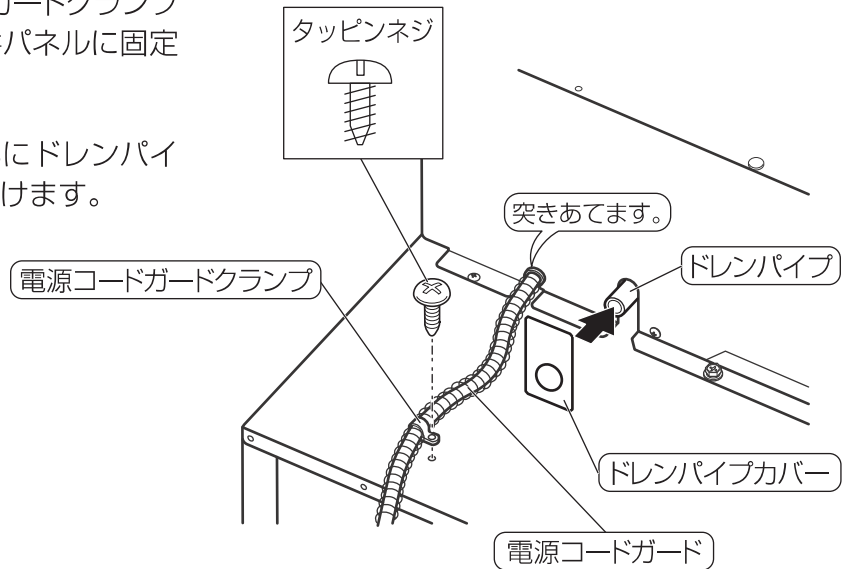
必要なネジ類 電源コードガードクランプ 1個・  
タッピンネジ 1個

使用する工具 ⊕ドライバーまたは  
電動ドライバー

- 1 電源コードガードを電源コードガードクランプにはめ込み、タッピンネジで天井パネルに固定します。
- 2 冷却ユニットのドレンパイプ部にドレンパイプカバーを両面テープで貼り付けます。

### 重要

ドレンパイプカバーは、ドレンパイプ下側からネズミの侵入を防ぐための部品です。強く押しつけて貼り付けてください。

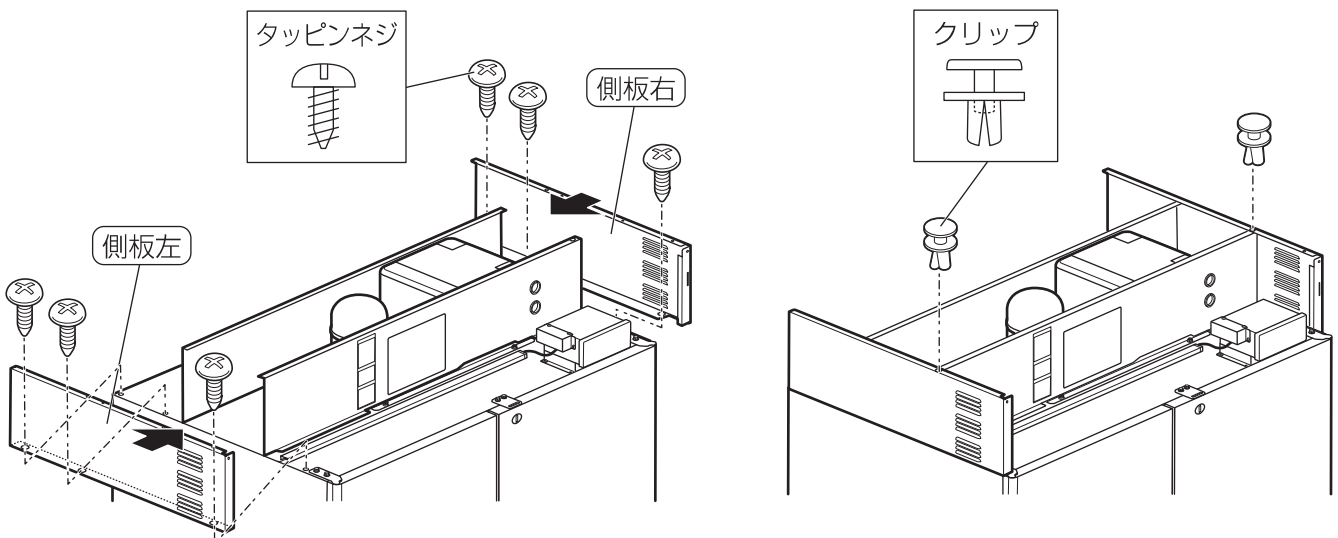


## 9 側板右・側板左を取り付ける。

必要なネジ タッピンネジ 6個・クリップ 2個

使用する工具 ⊕ドライバーまたは電動ドライバー

- 1 側板右の穴と天井パネルの穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(3カ所)
- 2 側板左の穴と天井パネルの穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(3カ所)
- 3 風導板の上側の穴と側板上側の穴を合わせてクリップで固定します。(2カ所)

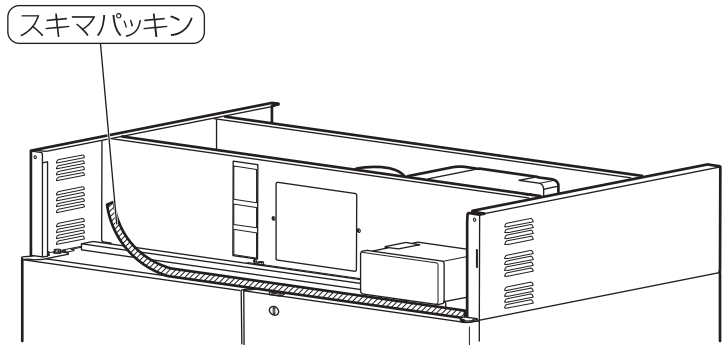


## 10 スキマパッキンを貼り付ける。

- スキマパッキンを天井パネルの前側のふちに  
合わせて貼り付けます。

### 注意

スキマパッキンは、前面カバーと天井パネルのすき間を埋めるための部品です。



## 11 補強枠横を取り付ける。

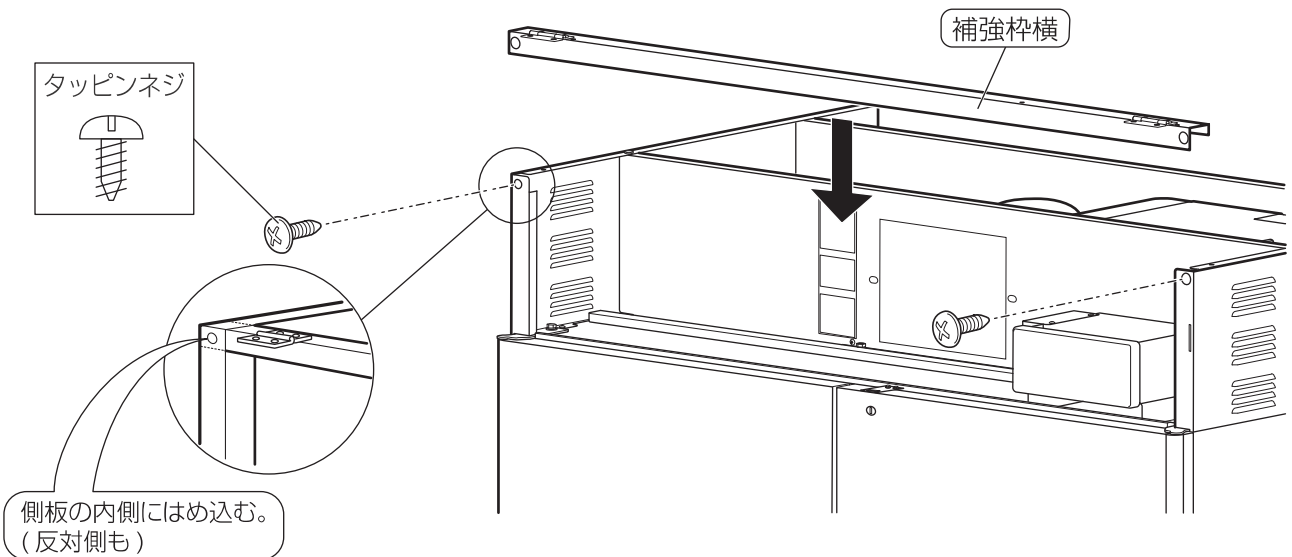
必要なネジ

タッピンネジ 2個

使用する工具

⊕ドライバーまたは電動ドライバー

- 1 補強枠横をななめにして側板右・側板左の  
間に入れ、側板右・側板左の切り欠き部  
にはめ込みます。
- 2 補強枠横の穴と側板右・側板左の穴を合わせ、  
タッピンネジで固定します。(2カ所)



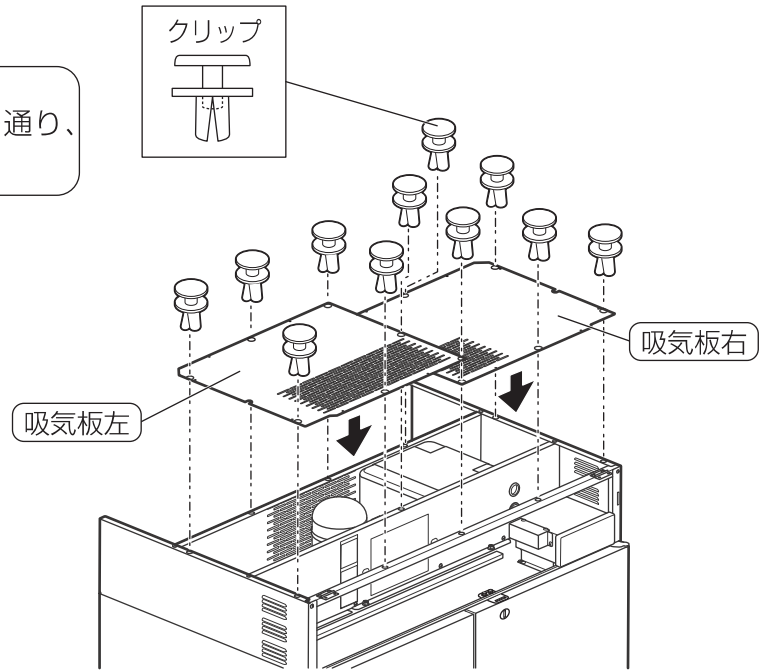
# 12 吸気板右・吸気板左を取り付ける。

必要な部品 クリップ 11個

- 吸気板右・吸気板左をクリップで固定します。  
(11カ所)

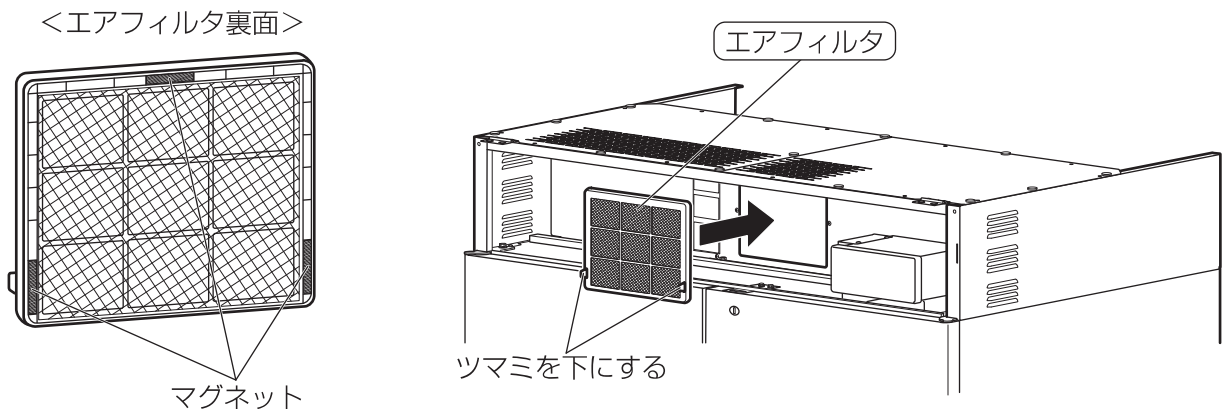
## 注意

吸気板には前後左右がありますので図の通り、方向に注意してください。



# 13 エアフィルタを取り付ける。

- エアフィルタは風導板に取り付けます。  
エアフィルタはマグネットによる吸着式になっています。



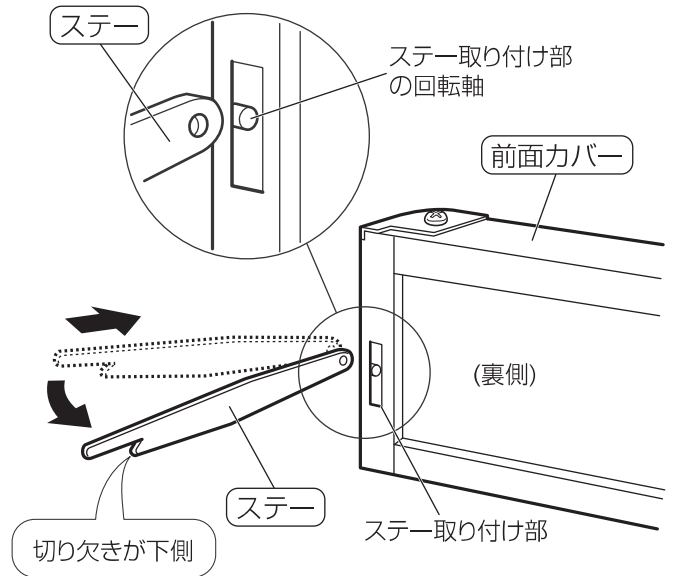
# 組立・設置方法

## 14 前面カバー・ステーを取り付ける。

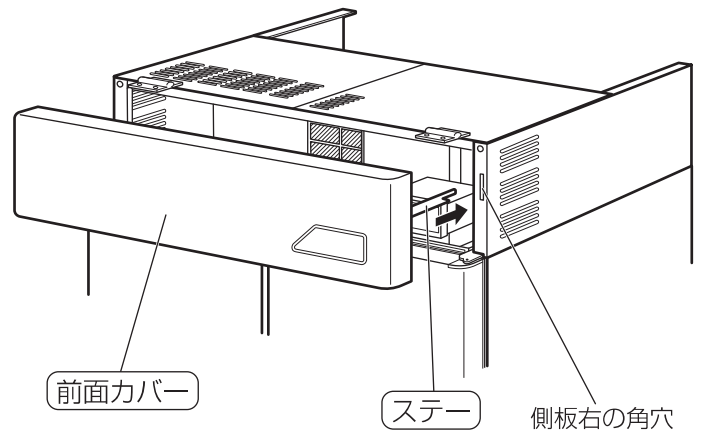
必要なネジ | タップネジ 4個

使用する工具 | ⊕ドライバーまたは電動ドライバー

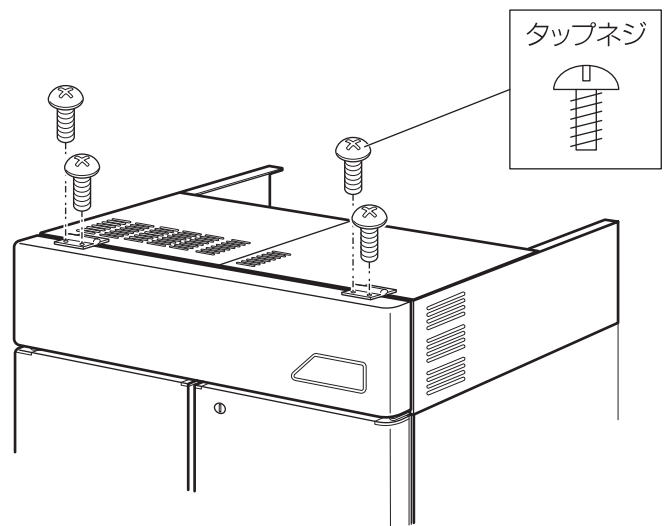
- 1 前面カバーにステーを取り付けます。
  - 前面カバーの裏側のステー取り付け部にステーの穴のあいている方を挿入します。
  - 前面カバーの回転軸にステーの穴を入れます。



- 2 ステーを側板右の角穴に挿入します。



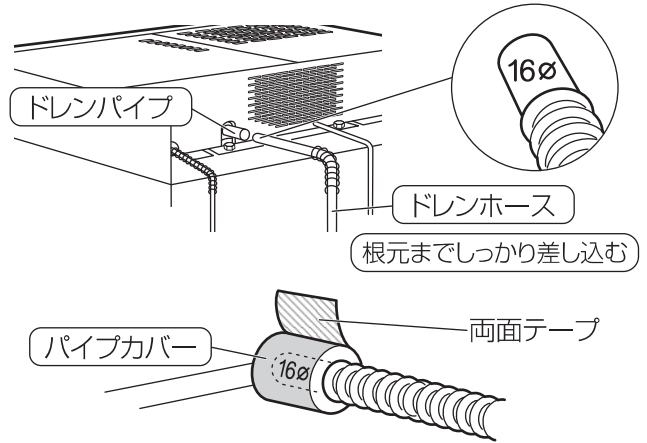
- 3 補強枠横に付いている丁番を前面カバーにタップネジで固定します。(4カ所)



# 15 ドレンホース・パイプカバーを取り付ける。

必要なネジ | ドリルネジ 6個 | 使用する工具 | 電動ドライバー

- 1 ドレンホース(16φの刻印がある側)をドレンパイプに奥までしっかり差し込みます。
- 2 ドレンパイプ部にドレンホースの上からパイプカバーを巻き付け、両面テープでしっかりと固定します。



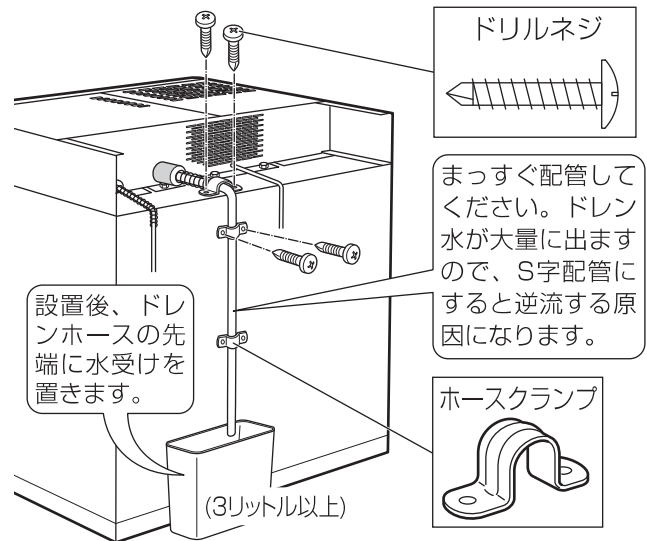
## 重要 パイプカバー取り付け上の注意

- 冷却ユニットのドレンパイプ(アルミ製)の結露を防ぐための部品です。
- ドレンパイプの根元にすき間があかないようにしっかりと固定してください。すき間があると結露の原因になります。

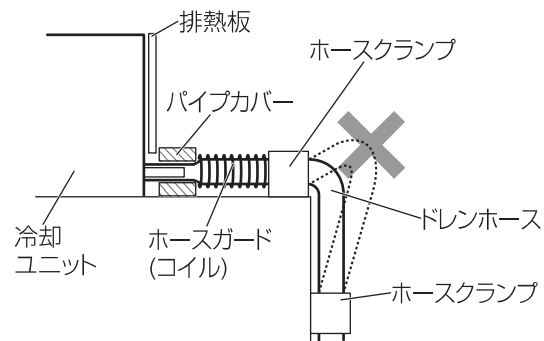
- 3 ホースガード(コイル)をパイプカバーに突き当て、ドレンホースをホースクランプで本体にドリルネジで固定します。

## 重要 ホースガード(コイル)取り付け上の注意

- ドレンホースをネズミから保護するためのものです。
- ホースガード(コイル)の上からホースクランプを固定しないでください。



## 重要 ドレンホース取り付け上の注意



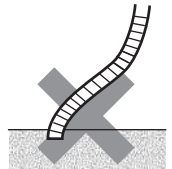
- 根元までしっかり差し込んでください。すき間があると水もれや結露することがあります。
- 冷却ユニットからの排水は流れをよくするため、ドレンホースは途中で持ち上げられないようまっすぐにしてホースクランプで固定してください。ドレンホースが持ち上がっていると排水できなくなり、庫内のドレン皿から水があふれて貯蔵物などをぬらしてしまいます。

## ドレンホースの配管上の注意

S字にしない。



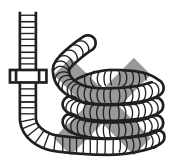
土中に埋めない。



水面につけない。



巻かない。



## ドリルネジの締め付けかた

ネジを空回りさせないため、ドリルネジがパネルに食い込んだところでいったん電動ドライバーを止めて、あとは少しずつ締め付けます。

# 16 可変棚を取り付ける。

可変棚に付属の「取付説明書」を参照して組み立ててください。

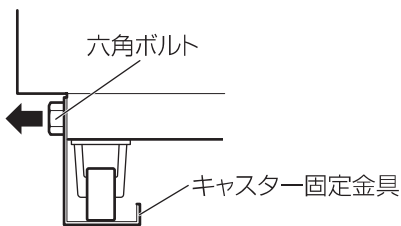


# 設置

## 1 キャスター固定金具をはずす。

使用する工具 | ⊕ドライバー(3番)またはラチェットハンドル・ソケット(13mm)

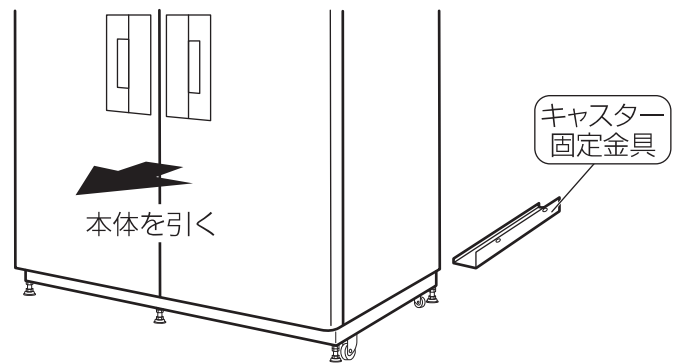
- ① ⊕ドライバー(3番)またはソケット(13mm)で左右の六角ボルトをはずします。(4カ所)



- ② 本体を手で前側に引き、キャスター固定金具からはずします。

### 重要

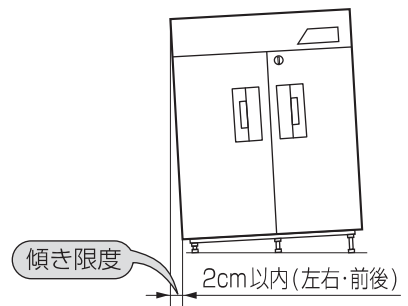
⊕ドライバーではずすときは、必ず3番を使用してください。2番のビットを使うとボルトの十字穴部がつぶれて、ボルトをはずすことができないおそれがあります。



## 2 設置場所に固定する。

使用する工具 | ラチェットハンドル・エクステンションバー・スパナ(24mm)・六角ビットソケット(8mm)・水準器

- 設置場所に置くまえに、アジャスターのロックナットをゆるめておきます。
- 設置場所に置いてから、製品がガタつかず、前後左右が水平になるように水準器を使い、アジャスターで高さ調節してください。
- 調節終了後、扉の開閉をおこない、ゆがみがないか確認してください。
- 調節終了後、庫外からロックナットを固定できるところは、必ず締めて固定してください。庫内からロックナットを固定することはできません。



### 重要

キャスターは必ず床面から2mm以上浮かせてください。本体が動き出したり、キャスターが破損する原因になります。

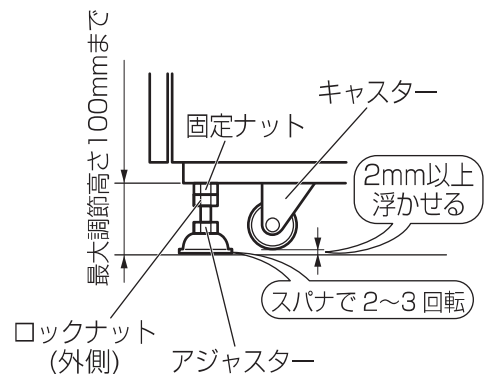
### ⚠️ 注意



禁止

アジャスターは最大調節高さ100mm以上に伸ばさない。

はずれると製品転倒などによるケガの原因や、本体がゆがむなどして冷却性能を損なう原因になることがあります。



# 組立・設置方法

**庫外から調節する場合** 全てのアジャスターを庫外から調節することができます。

- ① ロックナットをゆるめて、アジャスターの底が設置面にあたるまで伸ばします。
- ② スパナ(24mm)でさらにアジャスターを回し、調節をおこないます。

**庫内から調節する場合** 後側のアジャスターのみ庫内から調節することができます。

- ① アジャスター調節口ふたを「反時計回り」の方向に回して、引き上げます。

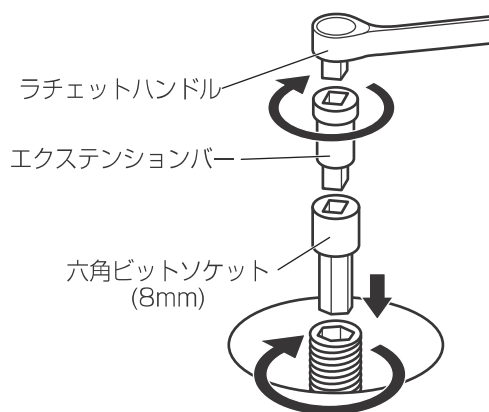
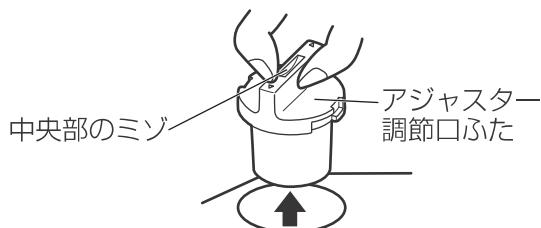
回らないときは、中央部のミゾにコインなどを入れて回してください。

- ② アジャスターのネジ部先端の六角穴に六角ビットソケット(8mm)を入れてアジャスターの底が設置面にあたるまで伸ばします。

ビットソケットを使うときは、エクステンションバーを組み合わせてください。

- ③ ラチェットハンドルでさらに六角ビットソケットを回し、製品の水平調節をおこないます。

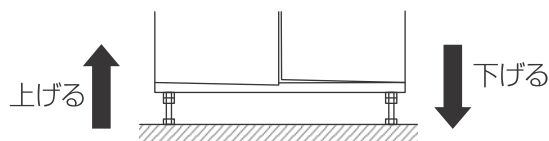
- ④ アジャスター調節口ふたを取り付けます。アジャスター調節口ふたは、「時計回り」の方向に回し、必ずロックしてください。ロックしないと結露の原因になります。



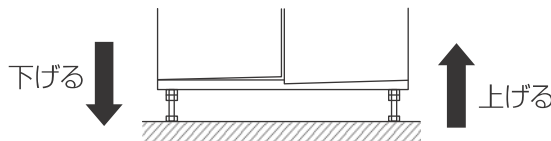
アジャスターを伸ばすとき	アジャスターを縮めるとき
「時計回り」の方向に回します。	「反時計回り」の方向に回します。

**設置後、扉に段差ができたとき、下記の要領で調節してください。**

- 右扉が左扉より高いとき  
向かって本体左前を上げるか、右前を下げます。

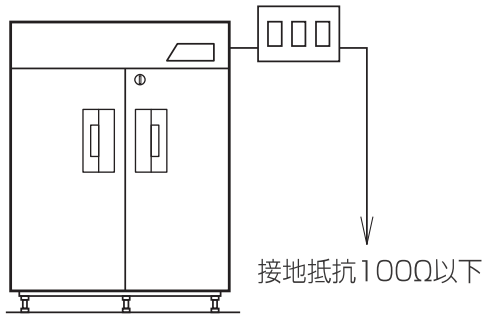


- 左扉が右扉より高いとき  
向かって本体左前を下げるか、右前を上げます。

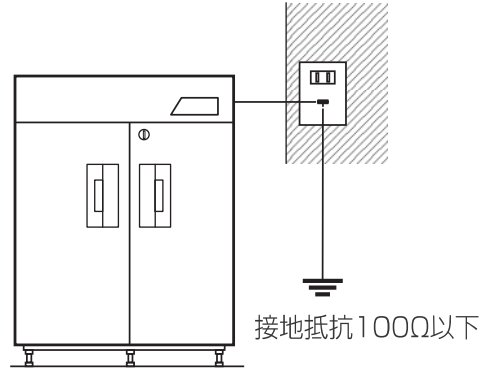


# 3 アース線を接続する。

- 既設のアース端子などを利用する場合



配電盤などのアース専用端子を利用する。



コンセントのアース専用端子を利用する。

- 既設のアース端子などが無いときは、電気工事店へ依頼してD種接地工事をおこなってください。

## 警告



禁止 感電のおそれがあります。

アースはガス管や水道管などには絶対に接続しない。

# 4 電源プラグをコンセントに差し込む。

- 電源スイッチが「切」の位置になっていることを確かめてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

## 警告



必ず実施

交流100V・15A以上の専用コンセント、ブレーカーを単独で使用する。  
他の機器とタコ足配線すると発熱による火災の原因になります。



必ず実施

延長コードを使用するときは、太さ2mm<sup>2</sup>以上、長さ10m以下にする。  
発熱による火災の原因になります。  
電圧降下により、正常に作動しない原因になります。

## 試運転

【定格電圧・周波数 単相100V 50/60Hz】

●出荷時はおこのみ「高湿」コース  $2^{\circ}\text{C}$  に設定してあります。

### 1 コースランプ・庫内温度表示部の表示確認をおこなう。

#### 操作方法

おこのみ「高湿」コースキーと「ジュース・ビール類・玄米」コースキーを同時に押しながら電源スイッチを「入」にする。

※庫内サーミスタ線および除霜サーミスタ線の接続不良があるときは、 $\text{E0}$  または  $\text{E3}$  を表示します。コネクタを差し込み直してから再度おこなってください。

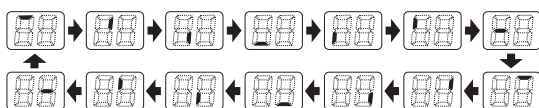
#### ランプの点灯確認

操作部のランプが①から⑦の順番に点灯・消灯します。

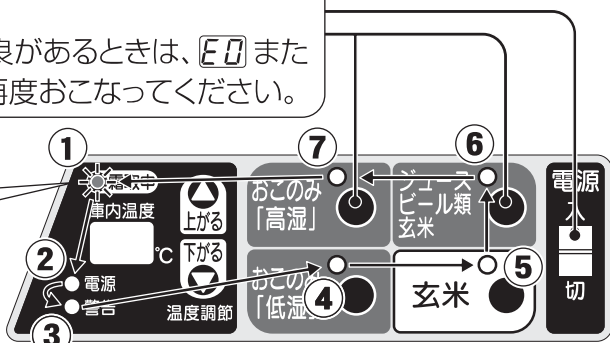
これを2回くり返しますので、全てのランプが点灯したことを確認してください。

#### 表示確認

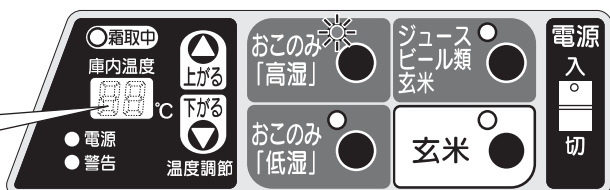
庫内温度表示部が下記の順番で点灯・消灯をくり返しますので、全て点灯したことを確認してください。



次の操作案内のため、おこのみ「高湿」コースランプが点滅します。



①から⑦の順番に点灯・消灯をくり返したあと、庫内温度表示部の表示確認に進みます。



※庫内温度表示部の点灯・消灯は次の操作をおこなうまで続きます。

### 2 庫内ファンの運転確認をおこなう。

#### 操作方法

おこのみ「高湿」コースキーを押します。

#### 操作部の表示

おこのみ「高湿」コースランプの点滅が消えます。庫内温度表示部に  $1-$  と表示します。

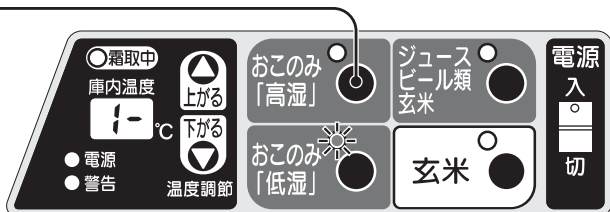
次の操作案内のため、おこのみ「低湿」コースランプが点滅します。

#### 動作および確認方法

庫内ファンの運転をおこないます。

冷氣吹き出し口から風(冷氣ではありません)が出ていることを確認してください。

※コンプレッサーは運転していませんので、冷たい風は出ません。庫内ファンの運転は次の操作をおこなうまで続きます。



### 3 凝縮器ファンの運転確認をおこなう。

#### 操作方法

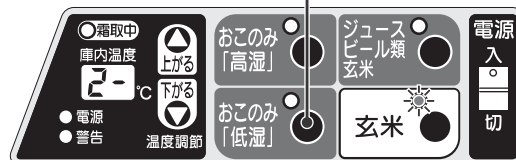
おこのみ「低湿」コースキーを押します。

#### 操作部の表示

おこのみ「低湿」コースランプの点滅が消えます。  
庫内温度表示部に「2-」と表示します。  
次の操作案内のため、「玄米」コースランプが点滅します。

#### 動作および確認方法

庫内ファンの運転が終了し、凝縮器ファンの運転をおこないます。  
エアフィルタ部に手を近づけて、風が吸い込まれていることを確認してください。  
※凝縮器ファンの運転は次の操作をおこなうまで続きます。



### 4 冷却運転の確認をおこなう。

#### 操作方法

「玄米」コースキーを押します。

#### 操作部の表示

「玄米」コースランプの点滅が消えます。  
庫内温度表示部に「3-」と表示します。

#### 動作および確認方法

コンプレッサー、庫内ファン、凝縮器ファンの運転をおこない、冷却運転を開始します。  
冷気吹き出し口から冷気が出ていることを確認してください。  
※冷却運転は電源スイッチを「切」にするまで続きます。



### 5 通常運転の確認をおこなう。

#### 操作方法

電源スイッチを「切」にした後、再び「入」にする。

#### 操作部の表示

通常運転中は、電源ランプ・コースランプ(例では高湿)が点灯し、庫内温度表示部には庫内の温度が表示されます。

#### 動作および確認方法

電源スイッチを「入」にしてから10秒後に庫内ファンの運転がはじまり、3分後にコンプレッサーの運転がはじまりますので、冷気吹き出し口から冷気が出ていることを確認してください。  
設定温度が周囲温度より高いときは、コンプレッサーが動きませんので、2°Cで運転してください。



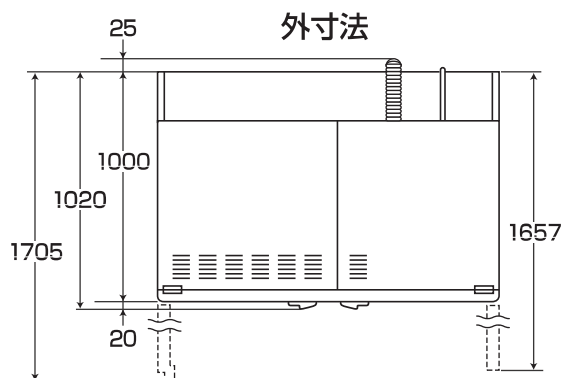
# 仕様

形 式		ARV-28BSF	ARV-32BSF
定 格 内 容 積		1531L	1762L
農業用コンテナ収納量		16個	20個
玄米収納量	30kg入紙袋	28袋	32袋
	質量	840kg	960kg
寸 法	外形寸法(mm) (幅×奥行×高さ)	1407×1045×1895	1407×1045×2095
	本体寸法(mm) (幅×奥行×高さ)	1407×1020×1625	1407×1020×1825
	本体寸法(mm) (幅×奥行×高さ)	1300×890×1385	1300×890×1585
製 品 質 量		約145kg	約154kg
定 格 電 圧・周 波 数		単相100V 50/60Hz	
電動機の定格消費電力		315W(50Hz)/330W(60Hz)	
電熱装置の定格消費電力		12.5W	
起 動 電 圧 許 容 範 囲		90~110V	
使 用 冷 媒		R134a	
電 源 コ ー ド		約4m	
推 奨 設 置 環 境	温湿度	周囲温度35℃以下、周囲相対湿度90%RH以下	
	設置場所	直射日光のあたらない屋内	
設 定 温 度 範 囲		2℃~18℃ (1℃単位)	
庫 内 湿 度 (周囲温度25℃時の目安)		<ul style="list-style-type: none"> <li>●玄米コース..... 約60~70%</li> <li>●おこのみ「高湿」コース..... 約70~80%</li> <li>●ジュース・ビール・玄米コース..... 約60~70%</li> <li>●おこのみ「低湿」コース..... 約50~60%</li> </ul>	
付 属 品		<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">●スノコ(プラスチック製・1組)</li> <li style="width: 50%;">●棚(1枚)</li> <li style="width: 50%;">●棚受け(2個)</li> <li style="width: 50%;">●ドレンホース</li> <li style="width: 50%;">●キー(2個)</li> <li style="width: 50%;">●取扱説明書/組立・設置説明書</li> <li style="width: 50%;">●保証書</li> </ul>	

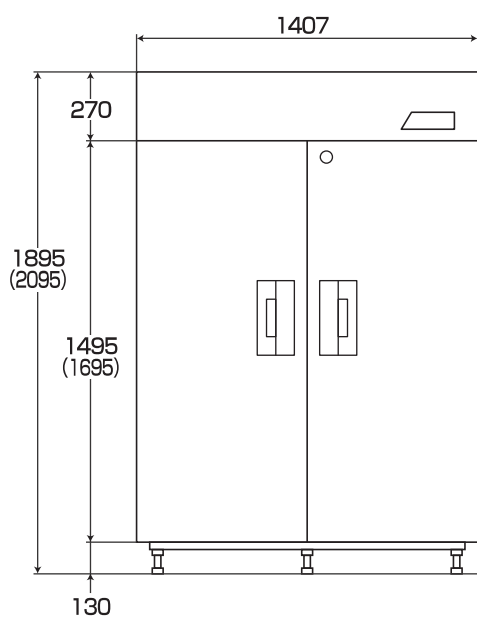
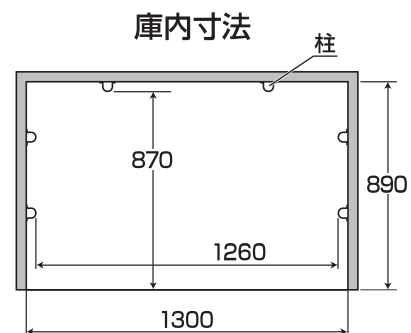
# 主要寸法図

## ARV-28BSF・32BSF

(単位：mm) ( )内寸法はARV-32BSF

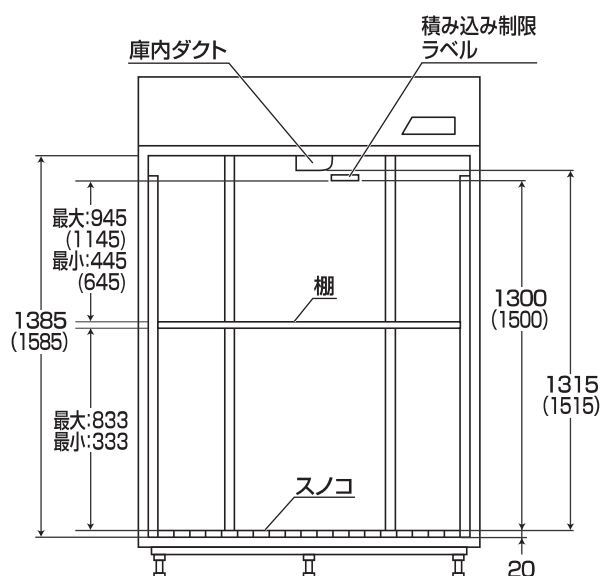


〈平面図〉



〈正面図〉

棚の取り付けは  
50mmピッチ  
11段



仕様

# アフターサービスと保証について

## 修理サービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品は、製造打切後最低9年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有料で修理いたします。

## 保証について

- この製品は保証書付きです。
- 保証書はお買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から3年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口修理をご依頼ください。
- 貯蔵物の補償など製品修理以外の責はご容赦ください。

## 廃棄などについて

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。

お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にご相談ください。(処理費用は有償です)

※不法投棄した場合、5年以下の懲役または1000万円以下の罰金など、厳しく罰せられます。

## こんな症状ありませんか

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- 製品にさわるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

## こんなときは

このような症状のときは電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にて点検をご相談ください。

## お客様相談窓口

この製品の使用方法・アフターサービス並びに品質に関するお問い合わせは、

エムケー精工 お客様相談窓口

〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825

フリーダイヤル ☎0120-70-4040

■通常電話番号 026(272)4111(代表)

■FAX 026(274)7089

受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時  
(祝日および弊社休業日を除く)

## 設置業者の方へのお願い

### 組立・設置記録

- 庫内右側面の上部に貼付の定格ラベルに組立・設置日を必ず記入してください。
- 下記の欄に必要な事項を記入し、お客様にお渡しください。

組立・設置日	設置業者
年 月 日	住所・氏名 TEL

Let's enjoy the future!



エムケー精工株式会社

〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825  
TEL 026(272)4111(代)  
FAX 026(274)7089(代)

### [支店]

札幌支店	〒004-0841	札幌市清田区清田一条1-9-21	TEL 011(881)7311
仙台支店	〒983-0023	仙台市宮城野区福田町4-14-22	TEL 022(258)3861
東京支店	〒125-0062	東京都葛飾区青戸8-3-5MK東京ビル3F	TEL 03(3604)6441
静岡支店	〒422-8035	静岡市駿河区宮竹1-13-5	TEL 054(238)0111
新潟支店	〒950-0923	新潟市中央区姥ヶ山2-18-15	TEL 025(287)0911
長野支店	〒387-0007	長野県千曲市大字屋代4299-1	TEL 026(272)8701
名古屋支店	〒453-0855	名古屋市中村区烏森町6-109	TEL 052(461)7261
金沢支店	〒920-0025	金沢市駅西本町2-8-8	TEL 076(264)1115
大阪支店	〒564-0043	大阪府吹田市南吹田3-6-4	TEL 06(6386)5800
広島支店	〒731-0138	広島市安佐南区祇園3-36-28	TEL 082(871)7355
福岡支店	〒812-0061	福岡市東区筥松1-2-31	TEL 092(612)1077

### [営業所]

高松営業所 〒761-8062 高松市室新町3-5 B棟102 TEL 087(868)6781